

(別添)

令和5年度当初予算（案）

主な事業の概要

【1 徹底した行政改革】

- 1 つくばセンタービル国際交流拠点事業
- 2 スマートシティ推進事業
- 3 コーチング研修
- 4 つくばセンタービル市民活動拠点事業
- 5 つくば駅前への市民窓口センターの開設
- 6 地区集会所建築等補助事業（Wi-Fi設備工事）
- 7 地域交流センター機能拡充事業
- 8 各委員会のインターネット映像配信

【2 安心の子育て】

- 9 屈折検査機器購入
- 10 子育て支援拠点事業
- 11 公立保育所ICT化推進事業
- 12 保育士等処遇改善助成事業
- 13 児童福祉施設整備補助事業
- 14 みどりの南児童クラブ建設事業
- 15 放課後児童クラブ運営委託事業（葛城、香取台、研究学園）
- 16 児童館空調設備設置事業
- 17 小中学校への学校サポーターの増員
- 18 小中学校への外国語指導助手（ALT）の増員
- 19 公立幼稚園オンライン会議用パソコン整備
- 20 ICT支援員の増員
- 21 つくばちびっ子博士で使用するパスポートのデジタル化
- 22 つくば市コミュニティ・スクール協議会（学校運営協議会）の導入
- 23 （仮称）新桜学校給食センター建設事業
- 24 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの増員
- 25 教育相談員の増員（つくしの広場・南部相談出張）
- 26 人権課題（性的少数者）研修の実施及び学校内の意識調査
- 27 不登校児童生徒学習支援施設運営委託事業
- 28 民間フリースクールにおける事業者・利用者への補助事業
- 29 校内フリースクールの整備
- 30 部活動地域移行事業
- 31 （仮称）みどりの南小学校・中学校建設事業
- 32 （仮称）中根・金田台地区小学校建設事業
- 33 小学校特別教室空調設備設置事業
- 34 学校施設バリアフリー調査

【3 頼れる福祉】

- 35 バリアフリーマスタープランの策定
- 36 敬老祝写真贈呈事業
- 37 高齢者電動アシスト自転車購入費補助事業
- 38 高齢者移動支援担い手育成事業
- 39 高齢者文化芸術鑑賞助成事業

- 40 傾聴ボランティア事業
- 41 障害福祉サービス給付事業
- 42 子どもの学習支援事業
- 43 居場所づくり支援事業
- 44 子宮頸がんキャッチアップ接種事業
- 45 特別支援教育相談事業
- 46 特別支援教育支援員の増員

【4 便利なインフラ】

- 47 文化施設等改修事業
- 48 一般廃棄物の最終処分方法に関する検討
- 49 葉刈り芝収集堆肥化推進事業
- 50 スマートIC整備事業
- 51 道路・街路・橋梁・河川等整備事業
- 52 道路・街路維持管理事業
- 53 視覚障害者向けナビゲーションシステム実証実験
- 54 つくばバス運行事業
- 55 路線バス運行実証実験事業
- 56 自転車のまちづくり事業（拠点整備、イベント、計画策定、バーステップング）
- 57 高機能消防指令センター総合整備事業
- 58 消防団員の処遇改善

【5 活気ある地域】

- 59 起業家育成支援事業
- 60 労働者協同組合の設立支援事業
- 61 （仮称）みどりの学校プール建設事業
- 62 スマート農業推進事業
- 63 産業用地検討事業
- 64 ジオパーク中核拠点施設整備事業（旧筑波東中学校）
- 65 防犯ステーション設置事業
- 66 平沢官衙遺跡歴史ひろば再整備事業

【6 誇れるまち】

- 67 （仮称）つくば市陸上競技場整備事業
- 68 公共施設のゼロカーボン化に向けた再生可能エネルギー設備導入調査
- 69 気候市民会議運営事業
- 70 生物多様性つくば戦略の策定
- 71 筑波ふれあいの里キャンプ場改修事業
- 72 豊里ゆかりの森整備事業（園内周遊コース整備等）
- 73 つくばセンタービル公共施設改修事業
- 74 市民協働景観形成事業
- 75 公園管理台帳システムの構築及び樹木医による診断
- 76 公園建設事業
- 77 電子図書館運営事業

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 10 市民生活対策費 19 国際化の推進に要する経費
事業名	つくばセンタービル国際交流拠点事業
担当課	市長公室 国際都市推進課
事業期間	令和5年度 ~
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-3 多様性をいかした誰もが活躍できる社会をつくる
ロードマップ	15 日本語学習環境の充実等による海外出身者も住み続けたいくなるまちづくり

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	51,056	0	0	0	0	51,056	34,000	17,056	
歳出内訳	使用料	1,251	駐車場使用料					0	1,251
	備品購入費	5,910	一般事務用備品					0	5,910
	補助金	43,895	(一財) つくば市国際交流協会運営費補助金					34,000	9,895

事業の目的	つくばセンタービルリニューアルに伴う国際交流拠点の開所(令和5年度秋予定)に合わせ、拠点運営に必要な事務室及び講座室用の備品を購入するとともに、(一財)つくば市国際交流協会の体制及び機能の強化を図り、利用者の利便性を高める。
事業の概要	<p>○国際交流拠点の事務室(運営は(一財)つくば市国際交流協会が担う想定)に設置する備品の購入(机、椅子、棚、パンフレットスタンド等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・執務室内、職員等9名が配置されることを想定。3,061千円 <p>○日本語教室やイベント等を行う3階講座室に設置する備品の購入(机、椅子、棚、演台、音響機器等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座室内、最大36名が利用することを想定。2,849千円 <p>○日本語講座やイベント参加者の駐車券購入 1,251千円</p> <p>○令和5年度 国際交流拠点を含む施設の一部先行オープン</p> <p>○令和6年度 4月施設全体のオープン予定</p> <p>国際交流協会の機能強化に伴う負担金増額の主な内訳:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(新規)正規職員1名採用 3,700千円 ○(新規)地域連携ラウンジ運営事業 2,661千円 ○(拡充)こども日本語・就学進学支援 959千円 ○(拡充)ボランティア募集・派遣事業拡充 413千円 ○(拡充)姉妹・友好都市交流 339千円 ○(新規)つくば市国際交流協会移転費用 966千円
事業の効果	国際交流拠点を整備することで、外国人、日本人市民が集い、それぞれの経験や能力をいかし、交流や地域づくりに活躍できる場を提供することができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	02 総務費 01 総務管理費 08 企画費 19 スマートシティ推進に要する経費
事業名	スマートシティ推進事業
担当課	政策イノベーション部 スマートシティ戦略課
事業期間	令和4年度～
未来構想	IV 市民のために科学技術をいかすまち
戦略プラン	IV-3 市民のために新たな技術や価値を導入し、進化するまちをつくる
ロードマップ	2 ほしい市役所の情報が自動で届き、道路破損などの気づきを気軽に通報できる双方向のシステムを導入 3 規制緩和を実現する内閣府スーパーシティ構想への申請とプライバシーを重視したデータ利活用 47 高齢者向けスマホ教室を開始し、離れて暮らす家族や友人とのテレビ電話などを可能に

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	238,628	112,404	0	0	2,000	124,224	100,434	138,194	
歳出内訳	委託料	25,489	情報連携システム基盤等整備・運用					24,584	905
	委託料	24,127	情報格差解消促進業務					37,316	△ 13,189
	委託料	34,332	自動走行ロボット用三次元地図整備					0	34,332
	委託料	49,752	インターネット投票システム構築・模擬投票実施					23,795	25,957
	委託料	10,000	先端的サービス実装推進拠点基本調査					0	10,000
	委託料/負担金	80,189	先端的サービス実装可能性調査					0	80,189
	負担金	14,739	情報連携システム基盤運営負担金					14,739	0

事業の目的	地域の課題解決のためのスマートシティの推進 デジタル情報プラットフォームの導入による地域との連携推進
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○情報連携システム基盤等の整備・運用 つくスマの機能追加(AIチャットボット、つくバス位置情報表示等)及び運用を実施する。 ○情報格差の解消促進業務 スマートフォンを所有しない高齢者等を対象とし、スマートフォンを無償で貸与し、さらに講習を実施する。 ○自動走行ロボット用三次元地図の整備 ペDESTリアンデッキの一部(エキスポセンター⇄カピオ周辺等)の三次元地図を整備し、自動走行への利用可能性を検証する。 ○インターネット投票システムの構築及び模擬投票の実施 令和6年度の市長・市議会議員選挙での使用を見据えたインターネット投票システムを構築するとともに、実際の選挙での運用を想定した模擬投票を実施する。 ○先端的サービス実装推進拠点基本調査 先端的サービスの実装に取り組む企業の市内への拠点設置に係る需要等について調査する。 ○先端的サービス実装可能性調査 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用促進実証 分身ロボットを活用し、障害者の就労支援の実証実験を行う。 ・モビリティ共同利用サービス及び安全検証実験 つくば駅周辺でのモビリティのシェアリングサービスを実施するとともに、時速10kmでの走行及び保安要員同行の代替措置に係る実証実験を行う。 ・荷物搬送サービス実証 移動スーパー利用者を対象とした荷物搬送サービスの実証実験を行う。 ・医療Ma a S実証 病院利用者を対象としたAIオンデマンド乗合タクシーの実証実験を行う。 ○情報連携システム基盤運営等負担金 様々なデータを分野横断的に活用するための情報連携システムを運用する。
事業の効果	先端的サービス、規制緩和及びデータ連携を組み合わせることで、地域住民が抱える困りごとや課題を解決し、つくばスーパーサイエンスシティ構想で目指す社会を実現する。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	02 総務費 01 総務管理費 02 人事管理費 15 組織開発に要する経費
事業名	コーチング研修
担当課	総務部 組織開発推進室
事業期間	令和3年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	17 コーチングの手法活用により市役所職員の主体性をさらに引き出す

(単位:千円)

事業費	令和5年度	左の財源内訳					令和4年度	増減	
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B	
	9,312	0	0	0	0	9,312	4,512	4,800	
歳出内訳	プロポーザル委員謝礼	24	プロポーザル選定委員謝礼					12	12
	テキスト代	139	コーチング研修用テキスト購入					0	139
	資格手数料	116	認定コーチ資格取得・更新手数料					0	116
	研修委託料	9,000	コーチング研修運営業務委託料(6チーム、36名)					4,500	4,500
	講習受講料	33	認定コーチ資格更新講習受講料					0	33

事業の目的	職員や組織が業務上抱える課題に対し、自ら考え行動できる主体的な職員を育成し、コミュニケーションを取りながら心理的安全性の高いチームでゴールを達成する組織を目指す。
事業の概要	<p>○事業者選定のためのプロポーザルの実施 事業目的の達成に向け、最も有効な研修方法を選定するため、プロポーザル方式での事業者選定を行う。</p> <p>○コーチング研修運営業務の実施 令和5年度は、組織開発を開始して3年目となるが、庁内で組織開発を進めていく上で、庁内コーチの存在は事業全体の重要な推進力となっている。このことから、組織開発事業の軸として庁内コーチの育成に重点投資していくため、対前年度比2倍となる6チームへの研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生が基本的なコーチングの手法を習得することができる場を設ける。 ・主として研修を受講する研修生6名に対し、各1名のコーチが継続的に関わる体制(直接面談もしくはオンラインによる1on1コーチング等)を構築する。 ・研修生が、庁内の他の職員を対象にコーチングの演習ができる力量をつける。 ・研修始期に研修生の現状把握を行い、終期に効果測定を実施することで、改善が図られた項目を明らかにする。 <p>○認定コーチ資格の取得・更新 研修終了後、庁内で個別・集団コーチングを実施していくに当たり、コーチングの力量を維持・向上させていくため、認定コーチ資格を取得・更新していく。</p>
事業の効果	コーチングの手法を活用することで、職員・組織が業務上抱えている課題に対して自らが考え行動するとともに、他者に気づきを与え、更なる行動へとつなげていくことができる。また、コミュニケーションが活性化されることで、最大限にポテンシャルが発揮される組織となる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 10 市民生活対策費 11 消費生活センターに要する経費 17 市民活動センター維持管理費 12 つくばセンタービル公共施設に要する経費
事業名	つくばセンタービル市民活動拠点事業
担当課	市民部 市民活動課(市民活動センター・消費生活センター)・文化芸術課(吾妻交流センター)
事業期間	令和5年度～令和6年度
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I-1 地域活動と市民チャレンジへの支援
ロードマップ	5 市民活動センターをリニューアルし地域活動の拠点整備

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	97,601	0	0	0	0	97,601	0	97,601	
歳出内訳	需用費	14,589	供用施設用管理消耗品、パンフレット印刷費、光熱水費等					0	14,589
	役務費	1,894	電話料、電話架設料、インターネット情報通信料等					0	1,894
	委託料	21,989	清掃・維持管理委託料、施設設備管理委託料等					0	21,989
	使用料及び賃借料	4,084	駐車場使用料、印刷機器賃借料、複合機賃借料等					0	4,084
	工事請負費	2,726	Wi-Fi整備工事、音楽室演出用照明工事					0	2,726
	備品購入費	52,319	一般事務用備品、供用施設用管理備品					0	52,319

事業の目的	つくばセンタービル・センター広場のリニューアルに伴い、新たな市民活動拠点を整備し、市民サービスを向上させる。
事業の概要	<p>○吾妻交流センターと市民活動センターが統合し、市民の活動や交流の場を提供・支援するとともに、消費生活センターも含めた新たな市民活動拠点を整備する。 総額 97,601千円</p> <p>○つくばセンタービル(西側エリアの一部)1階・3階 (ホール、会議室3室、講座室、音楽室、印刷作業室、調理室、和室2室、図書コーナー、フリースペース、相談室3室、キッズスペース、おむつ替え・授乳エリア等)</p> <p>○令和5年度 施設の一部先行オープン</p> <p>○令和6年度 4月施設全体オープン予定</p>
事業の効果	これまで分散していた公共施設を集約し、新たな市民活動の拠点として整備することで、市民の活動支援やサービスの向上につながるとともに、効果的・効率的な施設の維持管理を図ることができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	02 総務費 03 戸籍住民基本台帳費 01 戸籍住民基本台帳費 14 (仮称) つくばセンター市民窓口新設に要する経費
事業名	つくば駅前への市民窓口センターの開設
担当課	市民部 市民窓口課
事業期間	令和4年度 ～ 令和5年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	6 センタービルに便利な市役所窓口を新設

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	26,623	0	0	0	0	26,623	1,540	25,083
歳出内訳	需用費	333	事務用品、図書など				0	333
	役務費	390	キャッシュレス対応レジスター用インターネット回線導入工事など				0	390
	委託料	7,677	書かない窓口システム、証明書自動交付機保守など				1,540	6,137
	賃借料	14,091	証明書自動交付機、戸籍システム機器など				0	14,091
	工事請負費	997	非常通報装置設置工事など				0	997
	備品購入費	3,135	キャッシュレス対応レジスター、記載台など				0	3,135

事業の目的	行政手続きができる窓口施設のなかったつくば駅前に市民窓口センターを新設する。
事業の概要	<p>(1) 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> つくば総合インフォメーションセンター交流サロンを改修し、新たに市民窓口を開設する。 開設時期 令和5年12月(予定) 開設場所 B i V i つくば2F(つくば市吾妻1丁目8番地10) 窓口スペース 161.13㎡(事務室、待合スペース) <p>(2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 証明書発行、住民異動届出の受付、戸籍届出の受付、マイナンバーカードの交付、国民健康保険の加入など 他の窓口センターと同じ手続きができる窓口とする。 多様なライフスタイルに合わせ、夜間、休日にも利用可能な窓口とする。
事業の効果	つくば駅前に市民窓口センターを新設することで、市民の利便性向上を図ることができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 10 市民生活対策費 17 自治会関係に要する経費
事業名	地区集会所建築等補助事業 (Wi-Fi設備工事)
担当課	市民部 市民活動課
事業期間	令和5年度
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I-1 市民と共に創るまちづくりを推進する
ロードマップ	10-1 区会、民生委員・児童委員等の活動支援や担い手育成

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	540	0	0	0	0	540	0	540
補助金	540	地区集会所建築等補助金 (Wi-Fi設備工事に掛かる費用)					0	540
歳出内訳								

事業の目的	地域社会におけるコミュニティ活動の拠点となる地区集会所の建築等（新築、改築、増築及び修繕等）について、その費用の一部を補助する。
事業の概要	○Wi-Fi設備工事に掛かる費用の補助金 (Wi-Fi導入に掛かる初期設置費用×補助率1/2×20か所)
事業の効果	地区集会所の設備が充実することにより、区会員の利便性が向上し、地域コミュニティ活動の活性化が図れる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 10 市民生活対策費 23 地区相談に要する経費 15 地域交流センター費 11 地域交流センター維持管理に要する経費
事業名	地域交流センター機能拡充事業
担当課	市民部 地区相談課・文化芸術課
事業期間	令和5年度～
未来構想	I つくばならではの街並みや体験を創出する
戦略プラン	I-3 地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	27,505	0	0	0	0	27,505	4,852	22,653
歳出内訳	需用費	967	消耗品費、燃料費				375	592
	役務費	1,372	通信運搬費(携帯電話料・タブレット端末18台分)				492	880
	委託料	495	システム委託料(GISモバイル版における設定)				0	495
	備品購入費	1,164	管理用備品(図書備品、庁内備品)				102	1,062
	工事請負費	11,220	地域交流センターフリーWi-Fi屋内無線設備設置工事				3,883	7,337
	〃	12,287	大穂交流センター遮光設備外設置工事				0	12,287

事業の目的	地域交流センターにおいて、新たに地域の課題や要望等に関する相談受付やより多くの市民が利用できる居場所づくりを進めることで、市民の利便性向上と地域コミュニティの拠点とすることを旨とする。
事業の概要	<p>○最も身近な公共施設である地域交流センターを、市民の総合的な相談窓口とするため、令和5年度から現在の地区相談センターの相談業務を全17館の地域交流センターで実施する。</p> <p>○現場で地図確認等が容易に出来るようタブレット端末を導入する。</p> <p>○全地域交流センターに無料Wi-Fiを設置する。 (令和4年度当初予算で一部対応済み)</p> <p>○多世代が利用できる居場所づくりを進める。 (令和4年度の未整備分)</p>
事業の効果	地域の交流センターをより多くの市民が利用しやすい場所にする事で、市民との相互理解と信頼関係が深まり、より一層、地域の振興を図ることが可能となり、市民サービスの向上につながられる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	01 議会費 01 議会費 01 議会費 11 議会運営に要する経費
事業名	各委員会のインターネット映像配信
担当課	議会事務局 議会総務課
事業期間	令和5年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	9,108	0	0	0	0	9,108	0	9,108	
歳 出 内 訳	委託料	385	インターネット議会映像配信業務委託料					0	385
	工事請負費	8,723	委員会室・全員協議会室録画機器設置工事					0	8,723

事業の目的	各委員会での審査及び調査の様子をインターネットで配信することにより、開かれた議会を実現し、透明性・公正性のある議会運営に寄与する。
事業の概要	<p>○映像配信に必要な機器の整備 第1委員会室及び第2委員会室に可動カメラ各1台、全員協議会室に可動カメラ2台、その他コントローラ、レコーダ、コンバータ等配信に必要な機器一式を設置</p> <p>○映像配信の委託 録画映像のインターネット配信を委託</p> <p>○配信対象(予定) 総務文教委員会、福祉保健委員会、市民経済委員会、都市建設委員会、予算決算委員会、つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会、高エネ研南側未利用地に関する調査特別委員会、ジオパーク推進特別委員会、全員協議会</p>
事業の効果	インターネットで映像を配信することにより、傍聴に来ることができない方に対しても、幅広く委員会の審査及び調査の状況を公開することができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	04 衛生費 01 保健衛生費 03 母子衛生費 11 母子健康診査に要する経費
事業名	屈折検査機器購入
担当課	保健部 健康増進課
事業期間	令和5年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	5,539	2,769	0	0	0	2,770	0	5,539	
歳 出 内 訳	消耗品費	52	プリンターインク					0	52
	備品購入費	5,487	フォトスクリーナ(プリンター付)4台					0	5,487

事業の目的	3歳健康診査で受診者全員に屈折検査を行い、効率よく幼児の視覚障害を早期に発見し、治療につなげる。
事業の概要	<p>新たな屈折検査機器フォトスクリーナ(プリンター付)を4台購入する。</p> <p>○検査対象者 3歳健康診査受診者</p> <p>○実施場所 桜保健センター、谷田部保健センター</p> <p>○実施方法 3歳健康診査会場で、対象児全員に、フォトスクリーナで屈折検査を行う。</p> <p>※現在実施している屈折検査は、各家庭で実施したランドルト環による検査において、2方向以上見えなかった子や検査ができなかった子、内科診察で目に異常がある子らを対象に、2次検査としてオートレフラクトメーターを用いて実施している。また、保護者が子の目に関し、気になることがある場合にも検査を行っている。 オートレフラクトメーターでの検査は操作に習熟を要することから視能訓練士が行っているが、新たに購入するフォトスクリーナは、操作が簡便かつ短時間で検査ができ、視能訓練士でなくても測定が可能のため、導入後は対象児全員に屈折検査を行うことができる。</p>
事業の効果	新たな屈折検査機器(フォトスクリーナ)を導入することで、受診者全員に屈折検査を実施でき、弱視等を早期発見し、治療につなげることができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 02 児童福祉費 01 児童福祉総務費 16 子育て支援拠点事業に要する経費
事業名	子育て支援拠点事業
担当課	こども部 こども政策課
事業期間	継続
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-1 こどもも親も楽しく育つ環境をつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	117,353	35,479	31,677	0	0	50,197	109,511	7,842	
歳 出 内 訳	委託料	76,141	子育て支援拠点事業委託料					68,299	7,842
	委託料	41,212	子育て総合支援センター指定管理委託料					41,212	0

事業の目的	地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。
事業の概要	<p>○常設の地域子育て支援拠点を開設し、次の事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ②子育て等に関する相談、援助の実施 ③地域の子育て関連情報の提供 ④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 <p>○令和5年度の取組み TX沿線について人口に対して拠点の設置が追い付いておらず、市内の拠点数自体も近隣他市町村と比べ少ない状況であることから、TX沿線での拠点の増加を行う(1か所増)。</p> <p>○子育て支援拠点 11か所(前年度比+1か所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくば市子育て総合支援センター ・さくら学園保育園(チェリークラブ) ・ままとーん(つどいの広場) ・島名杉の子保育園(すぎのこクラブ) ・にじいろ保育園(なないろくらぶ) ・R5新規分 ・かつらぎ保育園(かつらぎクラブ) ・認定こども園みのり(おひさまクラブ) ・つくばこどもの森保育園(こどもの森広場) ・わかば保育園分園(おとなり) ・花畑保育園(花畑ひろば) <p>※つくば市子育て総合支援センター(H23.4月開館)は、運営を指定管理委託し、地域子育て支援拠点事業、人材の養成及び活用に関する事業、一時預かり事業、相談事業、貸し室の提供等を行っている。</p>
事業の効果	子育て親子の交流の場の提供や子育てに関する相談などの子育て支援サービスの充実を図ることで、子育てに対する不安感や負担を軽減することができる。特に今後、人口が多いTX沿線に常設の支援拠点を増設することで、転入などで不安や孤立が起きやすい子育て親子について行き届いた子育て支援ができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 02 児童福祉費 04 保育所費 11 保育所運営に要する経費 03 民生費 02 児童福祉費 04 保育所費 13 保育所管理に要する経費
事業名	公立保育所ICT化推進事業
担当課	こども部 幼児保育課・こども育成課
事業期間	令和5年度～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度	左の財源内訳					令和4年度	増減	
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B	
	21,778	0	0	0	0	21,778	0	21,778	
歳出内訳	通信運搬費	3,068	Wi-Fiサービス、インターネット回線使用料					0	3,068
	使用料	3,036	保育業務支援システム使用料					0	3,036
	工事請負費	13,585	Wi-Fi整備工事					0	13,585
	備品購入費	2,089	タブレット端末購入					0	2,089

事業の目的	公立保育所に保育業務支援システムを導入し、保育士の事務や児童の登降園管理、保護者との連絡調整等の業務をネットワーク化することにより改善する。
事業の概要	<p>○事業内容 令和5年度から保育業務支援システムを運用する。</p> <p>○対象保育所 15か所 大穂、上郷、今鹿島、真瀬、手代木南、二の宮、松代、竹園、並木、吾妻、桜南、沼田、作岡、岩崎(R6開園予定の新園舎で導入予定)、北条(モデル事業として令和4年度中に配線工事及びタブレット端末を導入済み)</p> <p>○予算</p> <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fiインターネット回線・サービス使用料 33,200円×14か所(岩崎除く)×6か月×1.1=3,068千円 保育業務支援システム利用料 (33,000円×6か所+38,500円×8か所)×6か月=3,036千円 定員100人以下:33,000円/月 定員101人以上:38,500円/月 Wi-Fi整備工事 950,000円×13か所(岩崎、北条除く)×1.1=13,585千円 タブレット端末購入費 67,800円×28台(北条除く)×1.1=2,089千円
事業の効果	公立保育所のICT化を推進することで保育士の業務負担の軽減を図るとともに、保護者にとって必要な情報等を把握しやすくすることによって、児童の福祉の向上を図る。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 02 児童福祉費 04 保育所費 12 民間保育所運営に要する経費
事業名	保育士等処遇改善助成事業
担当課	こども部 幼児保育課
事業期間	継続
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-1 こどもも親も楽しく育つ環境をつくる
ロードマップ	24 市内保育所の定員拡充と月3万円の助成金による民間保育士確保の継続

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	334,800	0	0	0	0	334,800	313,200	21,600	
歳出内訳	交付金	334,800	保育士等処遇改善助成金					313,200	21,600

事業の目的	保育士等の確保及び離職防止 質の高い保育の安定的な提供
事業の概要	<p>○事業内容 民間保育所等に勤務する常勤の保育士等に対し、月額3万円の助成金を交付する。</p> <p>○予算 月額30,000円×930人×12か月=334,800千円</p> <p>○対象施設数 令和4年度80施設 → 令和5年度85施設(見込)</p> <p>○補助対象者 市内の私立保育所等(認可保育所、認定こども園、小規模保育事業所、一時預かり事業所及び病児保育事業所)に勤務する保育士等(保育士、保育教諭、助保育教諭、幼稚園教諭及び幼稚園助教諭)で、次のいずれにも該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 私立保育所等の設置者等と期間の定めのない労働契約を締結している者 1日の所定労働時間が6時間以上で、かつ、1月当たり20日以上勤務する者 設置者等から月によって定められた賃金を支払われる者 私立保育所等において、専ら乳幼児の保育業務に従事している者 設置者等の役員でない者
事業の効果	保育の担い手となる保育士等を確保するとともに、離職を防止することができる。また、それにより質の高い保育の安定的な提供及び待機児童解消の一助とすることができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 02 児童福祉費 04 保育所費 12 民間保育所運営に要する経費
事業名	児童福祉施設整備補助事業
担当課	こども部 幼児保育課
事業期間	継続
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-1 こどもも親も楽しく育つ環境をつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	832,168	530,680	0	0	0	301,488	607,144	225,024
補助金	832,168	児童福祉施設整備費補助金					607,144	225,024
歳出内訳								

事業の目的	保育所の待機児童解消や多様化する保育ニーズに対応するため、民間活力を導入し、補助金を活用した新設や既存保育所の増改築を行い、定員枠を拡大する。
事業の概要	<p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等整備交付金を活用し、待機児童対策とした民間新設保育事業者への補助を行い、定員枠を拡大する。また、新耐震基準を満たさない公立保育所の民間移管事業において、移管先事業者への補助を行い、移管先施設の整備を行う。 <p>○予算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等整備事業（待機児童対策）：624,126千円（3園） ・公立保育所民間移管整備事業（上境保育所）：208,042千円（1園）
事業の効果	待機児童解消に向けた定員枠の確保及び市内保育環境の充実を図ることができる。新耐震基準を満たさない公立保育所の解消を行うことができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 02 児童福祉費 05 児童館費 12 放課後児童対策に要する経費
事業名	みどりの南児童クラブ建設事業
担当課	こども部 こども育成課
事業期間	令和4年度～令和5年度
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	29 放課後児童クラブの待機児童をゼロへ

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	514,360	401,072	40,104	58,500	0	14,684	27,280	487,080	
歳 出 内 訳	監理委託料	8,470	(仮称)みどりの南小学校児童クラブ室建設工事監理委託料					0	8,470
	建築工事	505,890	(仮称)みどりの南小学校児童クラブ室建設工事					0	505,890
	設計委託料	0	(仮称)みどりの南小学校児童クラブ室建設工事設計委託料					27,280	△ 27,280

事業の目的	人口増加やライフスタイルの変化に伴い、当市の放課後児童クラブニーズが急激に高まり、待機児童や国の床面積要件を超過して児童を受け入れている課題が生じている。受入枠を拡充して適正な児童クラブスペース(室)を確保し、待機児童数をゼロにするために、公立の児童クラブにおいては、児童クラブ室の新增設や学校施設等の活用を行っていく。
事業の概要	<p>○建築施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 木造2階建て 1,148.23㎡ (児童クラブ8室、事務室、多目的ホール、多目的室等) 開所時期 R6.4月予定 事業費 <ul style="list-style-type: none"> (仮称)みどりの南小学校児童クラブ室建築工事 505,890千円 (仮称)みどりの南小学校児童クラブ室建築工事監理委託料 8,470千円 補助金 <ul style="list-style-type: none"> 国:補助基準額(本体工事58,120千円+特殊付帯工事2,041千円)×5/6(1万円未満切捨)×8支援単位=401,072千円 県:補助基準額(本体工事58,120千円+特殊付帯工事2,041千円)×1/12(1万円未満切捨)×8支援単位=40,104千円 起債 <ul style="list-style-type: none"> (505,890千円+8,470千円)-(401,072千円+40,104千円)×80%≒58,500千円
事業の効果	児童クラブの待機児童が解消され、児童の保育環境を改善することができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 02 児童福祉費 05 児童館費 12 放課後児童対策に要する経費
事業名	放課後児童クラブ運営委託事業(葛城、香取台、研究学園)
担当課	こども部 こども育成課
事業期間	令和5年度～
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	29 放課後児童クラブの待機児童をゼロへ

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	130,769	27,840	27,840	0	27,034	48,055	0	130,769	
歳 出 内 訳	委託料	121,395	児童クラブ運営委託分(16クラブ)					0	121,395
	委託料	9,374	会議室貸出業務分(かつらぎ・かとりだい交流館)					0	9,374

事業の目的	併設する市民利用会議室の運営を含め、安定した経営基盤、高い専門性及び豊富なノウハウを有する事業者へ運営業務委託を行うことで、研究学園、香取台及び葛城小学校の放課後児童クラブの安定した運営体制の確保とサービスの質の向上を目的とする。
事業の概要	<p>○委託概要 期間：R5～R7 業務受託者は、公募型プロポーザル方式で決定</p> <p>○施設概要 ①かつらぎ交流館(5クラブ及び市民利用会議室) ②かとりだい交流館(5クラブ及び市民利用会議室) ③研究学園小学校児童クラブ(6クラブ)</p> <p>○業務の概要 ア 入所児童の保育業務 イ 保護者に関する業務 ウ 施設・付属設備及び物品の保全 エ 施設の清掃及び環境整備 オ その他業務報告等運営上必要な事項 カ 各種書類及び提出期限と適正な管理 キ 児童の安全管理 ク 市民利用会議室の受付業務(かとりだい交流館、かつらぎ交流館) ケ 香取台小学校施設の受付業務(かとりだい交流館) コ 図書館予約資料の貸出業務(かとりだい交流館)</p>
事業の効果	小学校に就学している児童であって、その保護者が就労等により昼間家庭にいないものにつき、放課後等に遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図ることを目的とする事業(放課後児童健全育成事業)であり、仕事と子育ての両立支援や児童の健全育成の観点から重要な役割を担っている。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 02 児童福祉費 05 児童館費 13 児童館管理に要する経費
事業名	児童館空調設備設置事業
担当課	こども部 こども育成課
事業期間	令和元年度 ～ 令和6年度
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	30 児童館プレイルームのエアコン設置を推進

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	52,723	0	0	40,700	0	12,023	46,772	5,951	
歳 出 内 訳	設計委託料	1,727	児童館空調設備設置設計委託料					1,749	△ 22
	監理委託料	1,386	児童館空調設備設置監理委託料					1,617	△ 231
	建築工事	49,610	児童館空調設備設置工事					43,406	6,204

事業の目的	児童館のプレイルームに空調を整備し、児童の健康に配慮するとともに円滑な児童館の運営を図る。
事業の概要	<p>○R5設置工事予定施設名 栄児童館、上郷児童館、吾妻東児童館</p> <p>○R5設計業務予定施設名 九重児童館、荃崎児童センター</p> <p>○設備仕様 天井吊型ツイン同時マルチ (10馬力相当) 2台 (室内機4台)</p> <p>○各施設面積 栄 : 103.50㎡ 上郷 : 191.00㎡ 吾妻東 : 146.08㎡</p>
事業の効果	児童の保育環境を健全に保ち、児童の身体及び生命を守ることができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 06 会計年度任用職員に要する経費
事業名	小中学校への学校サポーターの増員
担当課	教育局 教育総務課
事業期間	令和5年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	91,740	0	0	0	0	91,740	84,498	7,242	
歳 出 内 訳	報酬	85,843	学校サポーター報酬					75,609	10,234
	費用弁償	5,897	費用弁償(会計年度任用職員)					8,889	△ 2,992

事業の目的	市独自に学校サポーターを112名配置することで、教職員と多様な人材の連携により、学校教育活動の充実と教職員の働き方改革を実現する
事業の概要	<p>教職員の負担軽減を図るため、つくば市内の全小中義務教育学校に対して、規模に応じて最低2名、最大6名の学校サポーターを配置する。 教職員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できるよう、学習プリント等の準備や採点業務、来客・電話対応、消毒作業等をサポートする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 学校サポーターの職務内容 <ol style="list-style-type: none"> 学習プリントや家庭への配布文書等の各種資料の印刷、配布準備 採点業務の補助 来客対応や電話対応 学校行事や式典等の準備補助 各種データの入力・集計・掲示物の張替、各種資料の整理等の作業 教室等の消毒作業 その他、教職員が指示した業務 配置人数 112名(前年度比5名増)
事業の効果	教職員の業務負担を軽減することで、こどもたちに向き合う時間を確保し、こどもたちのより良い教育の推進につながる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 06 会計年度任用職員に要する経費
事業名	小中学校への外国語指導助手（ALT）の増員
担当課	教育局 教育総務課
事業期間	継続
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	141,951	0	0	0	0	141,951	130,572	11,379
歳出内訳	給料	105,942	外国語指導助手職員給				98,388	7,554
	職員手当等	3,463	通勤手当（会計年度任用職員）				3,182	281
		991	時間外勤務手当（会計年度任用職員フルタイム）				652	339
		14,604	期末手当（会計年度任用職員フルタイム）				12,608	1,996
		16,951	地域手当（会計年度任用職員）				15,742	1,209

事業の目的	教員の英語指導の補助及び児童生徒の実践的コミュニケーション能力の育成と国際理解の推進
事業の概要	<p>1 外国語指導助手の主な業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国語の授業に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ・授業準備段階や授業に関わる指導補助 ・児童及び生徒に対する外国語指導の補助 ・英語の免許を持たない小学校教諭の指導能力向上のための支援 ○授業以外の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・外国語担当教員に対する英語研修の補助 ・外国語教育教材の作成 ・帰国・外国人児童生徒（市内約710名）や保護者への支援（翻訳・通訳等） ・国際理解集会の講師 ・児童及び生徒のクラブ活動等課外活動への協力 ・英語プレゼンテーションフォーラム（茨城県事業）に向けた指導及び審査協力 ・幼稚園行事等への協力 ・その他外国語教育等に関する諸業務 <p>2 配置人数 37名（前年度比2名増）</p>
事業の効果	新設校が令和5年度3校開校に伴い、授業時数が増加するため、人員を2名増とすることで、全校一律の割合で外国語指導助手が授業に入ることが可能となり、より一層の児童生徒の個別・双方向の学びの充実と、実体験を通じた学習意欲の向上、異文化理解の浸透が見込める。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 04 幼稚園費 01 幼稚園費 18 情報機器整備に要する経費
事業名	公立幼稚園オンライン会議用パソコン整備
担当課	教育局 総合教育研究所
事業期間	令和5年度 ~
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	1,292	0	0	0	0	1,292	0	1,292
歳 出 内 訳	792	Wi-Fiルータ通信料					0	792
	500	パーソナルコンピュータ賃借料					0	500

事業の目的	公立幼稚園におけるオンライン会議やオンライン研修等に対応するための環境整備
事業の概要	公立幼稚園15園にノートパソコン及びWi-Fiルータを各1台ずつ賃貸借契約で導入し、オンライン会議等の利用環境を整備する。
事業の効果	公立幼稚園では、現在、オンライン会議等の利用環境が無いため、利用環境を有する市の施設に移動し、参加する等の対応をしている。環境整備後は、オンライン会議等の本来の目的である経費節減や業務の効率化を図ることができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 06 会計年度任用職員に要する経費
事業名	I C T支援員の増員
担当課	教育局 総合教育研究所
事業期間	令和5年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	27,617	0	0	0	0	27,617	12,977	14,640
歳出内訳	報酬	21,650	I C T支援員報酬				10,965	10,685
	職員手当等	2,775	I C T支援員期末手当				758	2,017
	旅費	3,192	I C T支援員費用弁償				1,254	1,938

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 学校現場における授業支援、研修支援及び障害対応支援の迅速かつ効率的な支援体制の構築 教育I C T環境の円滑な利用促進
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> I C T支援員の任用 文部科学省が示す目標水準では「4校に1人のI C T支援員の配置」とされており、この目標水準を充足するためには、13人の任用が必要となる（*52校÷4校=13人）。 I C T支援員が担う業務 学校要請に基づき学校現場において教職員及び児童・生徒に対する授業支援、端末操作方法の説明及びI C T機器・アプリケーションに関する簡易的なトラブルシューティング対応、各種システムのマニュアル作成等、日常的に発生する業務に従事する。 I C T支援員の配置 I C T支援員については、すべての支援員を総合教育研究所に配置する。半日は各学校での授業現場の教員、児童生徒のサポートに加え、校内I C T機器の各種点検を行う。また、半日を総合教育研究所に勤務することを基本とする。総合教育研究所勤務時は、所内に導入されている端末及びネットワークに関する各種設定業務や学校訪問時に必要な機器の設定及び資料作成、授業支援補助等における資料作成、各種システムのマニュアル作成等に従事する。 配置予定人数 13人（前年度比5名増）
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> 学校現場における情報端末や通信のトラブル等に対応すべく技術支援を迅速かつ効率的に実施することで、教職員の業務負担が軽減できる。 児童・生徒がI C Tを活用した効果的な教育を受けることができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 05 社会教育費 01 社会教育総務費 16 科学教育推進に要する経費
事業名	つくばちびっ子博士で使用するパスポートのデジタル化
担当課	教育局 生涯学習推進課
事業期間	令和5年度
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	31-2 研究機関と連携したつくばの強みを活かす科学教育

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	10,195	0	0	0	0	10,195	2,023	8,172
歳出内訳	消耗品費	1,360	事務用消耗品、参加記念品、スタンプラリーポイント用看板				842	518
	印刷製本費	1,397	チラシ、ポスター、パスポート印刷代				857	540
	保険料	450	事業参加者傷害保険料				324	126
	委託料	6,988	デジタルスタンプラリー業務委託、動画撮影委託				0	6,988

事業の目的	つくば市でこれまで取り組んできたGIGAスクール端末の活用を、平成11年からつくば市で展開している「つくばちびっ子博士」事業をフィールドに実施し、学校内外での学びをシームレスにつなぎ、「夢に向かってよりよい未来をひらく『学び』の実現」という教育振興基本計画の理念の実現、「社会に開かれた教育課程の実現」を図る学習指導要領の趣旨の実現を図る。
事業の概要	<p>つくば市では、つくばらしさをいかした「学び」を推進するため、国や民間企業の研究施設が集積し、それらの研究成果を紹介する社会教育施設が数多く所在するというつくば市の特徴を活かし、夏休み期間中に児童生徒が、社会教育施設を訪問したり、社会教育施設の動画を視聴したりし、それぞれで出題されるクイズに回答することをとおして科学への興味関心の醸成や気づきを与える「つくばちびっ子博士」事業を実施している。</p> <p>つくばちびっ子博士事業は、例年、紙のパスポートを市内の児童生徒等に配布し、そのパスポートに、児童生徒はクイズの回答を記載し、つくば市でそのパスポートを回収し、正解数に応じて「最優秀つくばちびっ子博士」等の認定を行ってきた。</p> <p>令和5年度は、児童生徒が所有するGIGAスクール端末等を利用し、各社会教育施設を訪問又は各社会教育施設の動画を視聴し、各々で出題されるクイズの正解することによって得られるwebスタンプを集め、その数に応じて「優秀賞」などを認定するためのスタンプラリーシステムの開発及びその運営をおこなう。</p> <p>科学教育事業のデジタル化に対するつくば市内児童生徒の嗜好や効果を確認する実証期間として令和5年度を位置づけ、例年どおり紙媒体でのちびっ子博士事業と併行して実施することを想定し、デジタルスタンプラリーのポイントは10施設程度、参加児童生徒数を5,000人を目安とした事業を展開する。</p>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> 動画配信と現地訪問とが別々に併存していた状況が、デジタル化により連携が強化され、実体験を大切にしつつ、デジタルを活用した新たな学びの機会を提供することができる。 将来的には、つくば市内の小学生・中学生の参加状況をデータ化し、つくば市教育局の教育データに連携させることも視野に入れることができ、学校での授業やキャリア支援等への活用にも期待できる。 児童・生徒にとっても、学外での個別の学びや発見を共有し、その中で生まれた疑問を協働で解決し、発信するという「STEAM教育」の理念を体現することが可能となる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 05 社会教育費 01 社会教育総務費 20 コミュニティ・スクール推進に要する経費
事業名	つくば市コミュニティ・スクール協議会（学校運営協議会）の導入
担当課	教育局 生涯学習推進課
事業期間	令和4年度～令和7年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	5,369	0	0	0	0	5,369	692	4,677
歳出内訳	報酬	300	学校運営協議会委員報酬				0	300
	報償費	3,215	コミュニティ・スクール推進会議（準備会議）委員、地域学校協働活動推進員謝礼等				446	2,769
	旅費	258	導入説明会参加者用旅費等				160	98
	需用費	1,133	会議運営消耗品、地域学校協働活動運営消耗品等				40	1,093
	役務費	451	委員傷害保険料等				40	411
	負担金補助及び交付金	12	全国コミュニティ・スクール研究大会参加費等				6	6

事業の目的	保護者や地域住民が学校運営に参画し、学校と地域が力を合わせることによって、それぞれの立場で主体的に子供たちの成長を支えていく学校づくりを進め、教育大綱の目標、新学習指導要領に定める「社会に開かれた教育課程」を実現するため、令和7年度末までに市内全学園にコミュニティ・スクールを段階的に導入する。
事業の概要	<p>学園ごとに、3年計画で地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に定義される学校運営協議会（つくば市では「コミュニティ・スクール協議会」と呼称する予定）を導入していく。協議会設立の前年度には準備会議として「コミュニティ・スクール推進会議」を開催する。令和7年度末までに市内全学園・義務教育学校に導入を完了させる。</p> <p>また、学園ごとの学校運営協議会をとおして、学校と地域が学園・学校運営方針や子どもたちの成長について熟議し、子どもたちの学びや成長を支えるための連携・協働活動である「地域学校協働活動」を各学園で一体的に推進されることが想定され、それをつくば市として支援する。</p>
事業の効果	コミュニティ・スクール導入は、学校運営に学校のみならず保護者・地域が参画する継続的体制の構築を実現し、教職員の地域人材を活用した教育活動や子供と向き合う時間の確保につながることを始め、そこにかかわる一人ひとりの学びの充実につながり、地域の教育力の向上や活性化も期待できる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 06 保健体育費 03 学校給食費 15 (仮称) 新桜学校給食センター建設に要する経費
事業名	(仮称) 新桜学校給食センター建設事業
担当課	教育局 健康教育課
事業期間	令和3年度～令和6年度
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	41 児童生徒増加に対応するため給食センターの提供可能給食数を増加

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	1,903,126	121,308	0	1,370,500	282,918	128,400	245,568	1,657,558	
歳出内訳	旅費	60	普通旅費					0	60
	委託料	6,666	(仮称)新桜学校給食センター建設工事監理委託料					0	6,666
	工事請負費	1,896,400	(仮称)新桜学校給食センター建設工事					0	1,896,400
	委託料	0	(仮称)新桜学校給食センター建設工事設計委託料					38,397	△ 38,397
	委託料	0	旧桜学校給食センター内残置物処理委託料					1,141	△ 1,141
	工事請負費	0	旧桜学校給食センター解体工事					206,030	△ 206,030

事業の目的	児童生徒が急増する中、必要食数を継続的に提供するため、さらに学校給食衛生管理基準への適合や食物アレルギーへの対応等の課題解決を図るため、新しい学校給食センターを建設する。
事業の概要	<p>○ (仮称) 新桜学校給食センターの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設予定地 つくば市天王台2丁目2番地2 (敷地面積10,037㎡) ・建設規模 延床面積3,886.44㎡、鉄骨造2階建て、調理能力7,000食 ・事業スケジュール <ul style="list-style-type: none"> 令和3～4年度 基本・実施設計 令和5～6年度 建設工事 令和7年4月 供用開始 <p>○ 予算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)新桜学校給食センター建設工事監理委託料 合計16,665千円 (令和5年度 6,666千円 令和6年度 9,999千円) ・(仮称)新桜学校給食センター建設工事 合計4,741,000千円 (令和5年度 1,896,400千円 令和6年度 2,844,600千円)
事業の効果	安心・安全な学校給食を安定して提供していくことができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 17 つくば市教育相談センター運営に要する経費
事業名	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの増員
担当課	教育局 教育相談センター
事業期間	継続
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	57,298	0	0	0	0	57,298	24,234	33,064
歳出内訳	報償費	23,940	スクールカウンセラー謝礼				8,820	15,120
	報償費	32,487	スクールソーシャルワーカー謝礼				15,288	17,199
	役務費	242	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー損害保険料				126	116
	使用料及び賃借料	629	校務用コンピュータ賃借料				0	629

事業の目的	学校における相談体制を充実させる。
事業の概要	<p>①スクールカウンセラー配置 19名(前年度比 12名増)</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理学に基づくカウンセリングを受けられる環境整備 配置 県事業で14名配置を想定(令和4年度同数)すると、市費と併せて1名あたり2校程度担当。人数ベースでは児童生徒700名につき1名(700名規模の学校に週1日配置)。令和4年度は1名あたり3校程度担当。人数ベースでは1,100名につき1名。 <p>②スクールソーシャルワーカー配置 17名(前年度比 9名増)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校と他機関(福祉・医療・警察など)の連携を促進させ、各分野の諸制度を利用しつつ、児童生徒が置かれた環境改善を図る。 配置 県スクールソーシャルワーカー派遣事業は、活用時間の制限、申請手続きによる時間的なロスなど制度的な問題点を抱えており、県へ配置型への移行など制度改善要求を行っている。 市独自でスクールソーシャルワーカーを各学園に1名を配置することで、相談連絡体制の強化と問題の未然防止効果が見込める。 <p>③損害保険料及び校務用コンピュータを充実させることで、効率的で安全な活動環境を整備することで、相談体制をより持続可能で効果的なものとする。</p>
事業の効果	学校相談体制を高い専門性を備えた人材で充実させることで児童生徒やその保護者に対し、細やかで適切な支援を適宜行うことが期待される。副次的に教員の負担軽減効果も見込まれる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 17 つくば市教育相談センター運営に要する経費
事業名	教育相談員の増員（つくしの広場・南部相談出張）
担当課	教育局 教育相談センター
事業期間	継続
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	32 公民連携で推進するフリースクールにより不登校の児童生徒が安心して通える居場所を確保

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	31,990	0	0	0	0	31,990	23,099	8,891
報酬	31,990	会計年度任用職員報酬等（教育相談員）					23,099	8,891
歳 出 内 訳								

事業の目的	教育相談センターにおける相談・通級（つくしの広場）体制を充実させる。
事業の概要	<p>①つくしの広場担当教育相談員 3名（前年比 1名増）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登校できない状態にある児童生徒に対し、人間的なふれあいを基盤とした集団生活の体験を通して、自主性や社会的な適応力などを育む支援を行う。 ・令和4年10月1日時点で、13名入級・3名体験・4名見学となっており、合計で20名となった。なお、つくしの広場への見学や入級希望は続いており、入級生一人一人が様々な背景を抱えており職員2名で対応することは不可能となっている。 <p>②教育面接相談担当教育相談員 10名（前年比 2名増）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくば市内在住の幼稚園、小中義務教育学校の児童生徒とその保護者、教職員を対象に教育上の諸問題に対する電話及び面接相談を実施し、問題の改善を図る。 ・親と子をそれぞれ専門の相談員が入り面接を行う。児童生徒とはプレイセラピーの要素も取り入れ、保護者とは対面面接を実施する。多角的なアプローチと総合的な状況把握をすることができ、効果的な相談を実施することができる。
事業の効果	職員増加でつくしの広場は入級、体験受け入れの対応力が増強され、きめ細やかな支援が見込まれる。教育相談は、南部相談を安定的に実施しながら、相談案件の増加に対応することができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 22 学校教育研究支援に要する経費
事業名	人権課題（性的少数者）研修の実施及び学校内の意識調査
担当課	教育局 学び推進課
事業期間	令和5年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	940	0	0	0	0	940	0	940	
歳 出 内 訳	講師謝礼	240	人権課題（性的少数者）研修講師謝礼					0	240
	費用弁償	100	人権課題（性的少数者）研修講師旅費					0	100
	委託料	600	人権課題（性的少数者）調査委託					0	600

事業の目的	性的指向と性自認の多様性について教職員の理解促進を図る。
事業の概要	<p>○人権課題（性的少数者）研修 教職員を対象に、性的指向と性自認の多様性について必要不可欠となる配慮事項や留意点などの具体的なポイントを学ぶ。</p> <p>○人権課題（性的少数者）調査委託 全教職員に向けた性的指向と性自認に関するアンケート調査や、児童生徒に対する相談体制や取組状況等に関する学校アンケート調査を実施する。</p>
事業の効果	性的指向と性自認の多様性について教職員の理解促進を図り、学校内外の課題を把握するとともに学校生活や指導の中での適切な対応が推進できる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 28 不登校児童生徒学習支援に要する経費
事業名	不登校児童生徒学習支援施設運営委託事業
担当課	教育局 学び推進課
事業期間	令和4年度 ~ ※令和4年度は、令和4年3月補正で対応
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	32 公民連携で推進するフリースクールにより不登校の児童生徒が安心して通える居場所を確保

(単位:千円)

事業費	令和5年度	左の財源内訳					令和4年度	増減
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B
	23,680	0	0	0	0	23,680	23,713	△ 33
歳出内訳	光熱水費	247	電気料				312	△ 65
	通信運搬費	278	インターネット情報通信料・携帯電話料				278	0
	使用料	1,320	不登校児童生徒学習支援事業場所用料				1,320	0
	委託料	21,835	不登校児童生徒学習支援事業業務委託料・植栽維持管理委託料				21,803	32

事業の目的	児童生徒が社会において自立的に生きる基礎を培うための選択肢の一つとして、公設の不登校児童生徒支援施設を運営し、不登校児童生徒への学習支援や居場所の提供等を行う。
事業の概要	<p>○事業の委託 令和5年度は、公設の不登校児童生徒支援施設1か所を委託により運営する(ここに広場)。</p> <p>○業務内容 受託事業者は、不登校児童生徒への学習支援、体験活動等の実施、居場所の提供、相談業務等を行う。学び推進課では、委託料以外の経費の支出管理、入所退所等の受付事務等を行う。定期的に、受託事業者、つくしの広場(つくば市教育相談センター内に設置する教育支援センター)及び学び推進課が会議を行い、連携しながら支援を進めていく。</p>
事業の効果	つくば市に学校外での支援施設が十分でない中で、公設により学校外での個に応じた学習の機会の提供や、心理的に落ち着ける居場所の提供などを行うことで、不登校児童生徒の社会的な自立に向けた選択肢を増やすことができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 28 不登校児童生徒学習支援に要する経費
事業名	民間フリースクールにおける事業者・利用者への補助事業
担当課	教育局 学び推進課
事業期間	令和5年度 ～ 令和7年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	32 公民連携で推進するフリースクールにより不登校の児童生徒が安心して通える居場所を確保

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	72,500	0	0	0	0	72,500	0	72,500	
歳 出 内 訳	補助金	48,500	不登校児童生徒支援施設事業費補助金					0	48,500
	交付金	24,000	民間不登校児童生徒支援施設等利用者支援交付金					0	24,000

事業の目的	<p>不登校児童生徒の学習や相談の機会や居場所の提供を行うフリースクール等民間施設の活動を支援するため、民間施設運営者に対して、児童生徒の支援体制整備及び運営に係る経費を支援する。</p> <p>不登校児童生徒が学校外で学習等を行う際に生じる保護者の経済的負担を支援し、児童生徒の社会において自立的に生きる基礎を培うための選択肢の充実を図る。</p>
事業の概要	<p>○事業者への補助 1日当たりのつくば市在住の利用児童生徒数と施設開設日数などに応じて支援の年間補助上限額を設定し、施設の支援対象事業費（つくば市在住の利用児童生徒分に限る。）の2分の1の額と比較して少ない方の額を支援する。</p> <p>○利用者への補助 不登校児童生徒支援施設を利用する際の利用料等、不登校児童生徒が学校外で学習等を行う際に生じる経費とする。1人当たりの補助上限を月額20,000円までとする。</p>
事業の効果	<p>不登校児童生徒が社会において自立的に生きる基礎を培うための選択肢の充実を図ることができる。</p>

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 28 不登校児童生徒学習支援に要する経費
事業名	校内フリースクールの整備
担当課	教育局 学び推進課
事業期間	令和5年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	52,887	0	0	0	0	52,887	0	52,887	
歳出内訳	備品購入費	11,220	校内フリースクール用備品購入費					0	11,220
	報酬	35,538	校内フリースクール支援員					0	35,538
	費用弁償	1,725	費用弁償(会計年度任用職員)					0	1,725
	職員手当	4,404	期末手当(会計年度任用職員パートタイム)					0	4,404

事業の目的	学校内で空き教室等を活用した教室とは別の場所において、教室に行けない又は教室に行きづらい児童生徒に対し、学習支援及び居場所を提供する校内フリースクールを設置する。
事業の概要	<p>○設置予定校数 中学校及び義務教育学校後期課程：16校(既の実施している中学校を除く。) 小学校及び義務教育学校前期課程：6校(試行的にモデル校を指定して実施。)</p> <p>○配置職員 児童生徒の相談や教育支援を行う専任職員として、会計年度任用職員を各校内フリースクールに1名ずつ配置する。週5日、1日6時間勤務、長期休業期間勤務なしを想定している(予算は人事課令達)。</p> <p>○施設整備費 ソファや目隠し用パーテーション等を室内に配置し、児童生徒がリラックスして過ごせる環境を作る。</p>
事業の効果	学校内で教室以外の居場所や学習空間を提供し、児童生徒の話を聞いたり学習指導したりできる大人を配置することで、教室に行けない又は行きにくい児童生徒の居場所や学習環境の選択肢を増やし、学校内に個別最適な学びの場を保障できる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 27 学校教育指導に要する経費
事業名	部活動地域移行事業
担当課	教育局 学び推進課
事業期間	令和5年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	10,970	0	8,352	0	0	2,618	0	10,970	
歳 出 内 訳	報償費	8,352	部活動地域移行コーディネーター、指導者謝礼					0	8,352
	補助金	2,618	部活動地域移行参加費補助金					0	2,618

事業の目的	休日部活動の段階的な地域移行を図る。
事業の概要	<p>○概要 休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、国が実施する部活動の地域移行等に向けた実証事業を行うもの。その他に、既に地域移行している文化・スポーツ団体での活動において、困窮家庭が参加する際の利用料の一部補助を行う。</p> <p>○実施内容 (1) コーディネーター配置支援体制整備 市の周辺地域を中心とした地域移行展開に向けた構想・企画、未実施学校への相談、学校との連携、学校とスポーツ少年団・協力団体とのマッチングへの取組等を行うコーディネーターを配置する。 (2) 指導者配置支援等体制整備 周辺地域の拠点校モデル(合同実施モデル)で実技指導等を行う指導者を配置する。 (3) 参加者費用負担への支援 主に既に地域移行している文化・スポーツ団体での活動において、困窮家庭が参加する際の利用料の一部補助を行う。</p>
事業の効果	少子化の中でも、将来にわたり市内公立中学校・義務教育学校(後期課程)の生徒がスポーツ・文化芸術に継続して楽しむことができる機会の確保。学校の働き方改革の実現及びそれに伴う学校教育の質の向上。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 02 小学校費 03 学校建設費 12 (仮称) みどりの南小学校建設に要する経費
事業名	(仮称) みどりの南小学校建設事業
担当課	教育局 教育施設課
事業期間	(工事) 令和4年度 ~ 令和5年度 (増築設計) 令和5年度
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	38 つくばエクスプレス沿線での5校の新設校及び増築校舎の着実な建設 101 つくばエクスプレス沿線の新設校を地域住民の施設利用や交流も行えるよう設計

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	2,892,450	899,511	0	1,358,800	614,268	19,871	1,285,588	1,606,862	
歳出内訳	設計委託料	19,871	(仮称) みどりの南小学校校舎増築設計委託料					0	19,871
	監理委託料	31,218	(仮称) みどりの南小学校建設工事監理委託料					14,153	17,065
	建築工事	2,553,126	(仮称) みどりの南小学校建設工事					1,271,435	1,281,691
	備品購入費	288,235	開校準備用備品(机、椅子等)					0	288,235

事業の目的	児童数増加によるみどりの学園義務教育学校の教室不足に対応すること																																												
事業の概要	<p>○(仮称) みどりの南小学校の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎(RC造3階) 約8,500㎡ (普通教室25室 特別支援教室5室程度、図書室、多目的室、その他特別教室等) 体育館(RC造1階) 約1,200㎡ 開校時期 令和6年4月予定 増築校舎設計 令和5年度 増築工事 令和6~7年度予定 <p>○予算(継続費設定(R4~R5年度))</p> <p>(仮称) みどりの南小学校</p> <p>○予算(令和5年度当初予算) (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">設計</th> <th rowspan="2">工事</th> <th rowspan="2">監理</th> <th rowspan="2">備品購入</th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="4">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫補助</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年度</td> <td>0</td> <td>1,271,435</td> <td>14,153</td> <td>0</td> <td>1,285,588</td> <td>345,120</td> <td>758,000</td> <td>182,468</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>19,871</td> <td>2,553,126</td> <td>31,218</td> <td>288,235</td> <td>2,892,450</td> <td>899,511</td> <td>1,358,800</td> <td>614,268</td> <td>19,871</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19,871</td> <td>3,824,561</td> <td>45,371</td> <td>288,235</td> <td>4,178,038</td> <td>1,244,631</td> <td>2,116,800</td> <td>796,736</td> <td>19,871</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 同一敷地内に自家発電装置を整備</p>		設計	工事	監理	備品購入	合計	財源内訳				国庫補助	地方債	その他	一般財源	R4年度	0	1,271,435	14,153	0	1,285,588	345,120	758,000	182,468	0	R5年度	19,871	2,553,126	31,218	288,235	2,892,450	899,511	1,358,800	614,268	19,871	合計	19,871	3,824,561	45,371	288,235	4,178,038	1,244,631	2,116,800	796,736	19,871
	設計							工事	監理	備品購入	合計	財源内訳																																	
		国庫補助	地方債	その他	一般財源																																								
R4年度	0	1,271,435	14,153	0	1,285,588	345,120	758,000	182,468	0																																				
R5年度	19,871	2,553,126	31,218	288,235	2,892,450	899,511	1,358,800	614,268	19,871																																				
合計	19,871	3,824,561	45,371	288,235	4,178,038	1,244,631	2,116,800	796,736	19,871																																				
事業の効果	みどりの学園義務教育学校の教室不足の可能性を解消することができ、児童のよりよい教育環境を整備することができる。																																												

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 03 中学校費 03 学校建設費 12 (仮称) みどりの南中学校建設に要する経費
事業名	(仮称) みどりの南中学校建設事業
担当課	教育局 教育施設課
事業期間	(工事) 令和4年度 ～ 令和5年度 (増築設計) 令和5年度
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	38 つくばエクスプレス沿線での5校の新設校及び増築校舎の着実な建設 101 つくばエクスプレス沿線の新設校を地域住民の施設利用や交流も行えるよう設計

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	2,229,618	473,448	0	1,236,300	499,998	19,872	965,132	1,264,486	
歳 出 内 訳	設計委託料	19,872	(仮称) みどりの南中学校校舎増築設計委託料					0	19,872
	監理委託料	24,644	(仮称) みどりの南中学校建設工事監理委託料					10,625	14,019
	建築工事	2,015,479	(仮称) みどりの南中学校建設工事					954,507	1,060,972
	備品購入費	169,623	開校準備用備品(机、椅子等)					0	169,623

事業の目的	児童数増加によるみどりの学園義務教育学校の教室不足に対応すること																																												
事業の概要	<p>○(仮称) みどりの南中学校の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎(RC造3階) 約4,200㎡ (普通教室5室、特別支援教室1室程度、図書室、多目的室、その他特別教室等) 体育館(RC造1階) 約1,300㎡、武道場(RC造1階) 約450㎡ 開校時期 令和6年4月予定 増築校舎設計 令和5年度 増築工事 令和6～7年度予定 <p>○予算(継続費設定(R4～R5年度))</p> <p>(仮称) みどりの南中学校</p> <p>○予算(令和5年度当初予算) (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">設計</th> <th rowspan="2">工事</th> <th rowspan="2">監理</th> <th rowspan="2">備品購入</th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="4">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫補助</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年度</td> <td>0</td> <td>954,507</td> <td>10,625</td> <td>0</td> <td>965,132</td> <td>184,052</td> <td>621,100</td> <td>159,980</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>19,872</td> <td>2,015,479</td> <td>24,644</td> <td>169,623</td> <td>2,229,618</td> <td>473,448</td> <td>1,236,300</td> <td>499,998</td> <td>19,872</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19,872</td> <td>2,969,986</td> <td>35,269</td> <td>169,623</td> <td>3,194,750</td> <td>657,500</td> <td>1,857,400</td> <td>659,978</td> <td>19,872</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 同一敷地内に自家発電装置を整備</p>		設計	工事	監理	備品購入	合計	財源内訳				国庫補助	地方債	その他	一般財源	R4年度	0	954,507	10,625	0	965,132	184,052	621,100	159,980	0	R5年度	19,872	2,015,479	24,644	169,623	2,229,618	473,448	1,236,300	499,998	19,872	合計	19,872	2,969,986	35,269	169,623	3,194,750	657,500	1,857,400	659,978	19,872
	設計							工事	監理	備品購入	合計	財源内訳																																	
		国庫補助	地方債	その他	一般財源																																								
R4年度	0	954,507	10,625	0	965,132	184,052	621,100	159,980	0																																				
R5年度	19,872	2,015,479	24,644	169,623	2,229,618	473,448	1,236,300	499,998	19,872																																				
合計	19,872	2,969,986	35,269	169,623	3,194,750	657,500	1,857,400	659,978	19,872																																				
事業の効果	みどりの学園義務教育学校の教室不足の可能性を解消することができ、児童のよりよい教育環境を整備することができる。																																												

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 02 小学校費 03 学校建設費 13 (仮称) 中根・金田台地区小学校建設に要する経費
事業名	(仮称) 中根・金田台地区小学校建設事業
担当課	教育局 教育施設課
事業期間	令和4年度～令和7年度 ※令和4年度は6月補正で対応
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	1,481,641	0	0	698,700	741,428	41,513	0	1,481,641	
歳出内訳	設計委託料	122,892	(仮称) 中根・金田台地区小学校建築工事設計業務委託					0	122,892
	除草委託料	10,721	(仮称) 中根・金田台地区小学校建築用地除草業務委託					0	10,721
	土地購入費	1,348,028	(仮称) 中根・金田台地区小学校建築用地購入					0	1,348,028

事業の目的	児童数増加による、九重小学校・栄小学校・栗原小学校の教室不足に対応すること。																												
事業の概要	<p>○(仮称) 中根・金田台地区小学校の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎 約7,900㎡ (普通教室 25室程度、特別支援教室3程度、その他特別教室) 体育館 約1,200㎡ 開校時期 令和8年4月予定 <p>○予算(継続費設定(R4～R5年度))</p> <p>中根・金田台地区小学校 R4～5年度 設計 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国庫補助</th> <th>地方債</th> <th>県負担金</th> <th>その他特財</th> <th>一般財源</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年度</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>76,818</td> <td>76,818</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>0</td> <td>698,700</td> <td>0</td> <td>741,428</td> <td>41,513</td> <td>1,481,641</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> <td>698,700</td> <td>0</td> <td>741,428</td> <td>118,331</td> <td>1,558,459</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) R6～R7年度 建設工事実施予定</p>		国庫補助	地方債	県負担金	その他特財	一般財源	合計	R4年度	0	0	0	0	76,818	76,818	R5年度	0	698,700	0	741,428	41,513	1,481,641	合計	0	698,700	0	741,428	118,331	1,558,459
	国庫補助	地方債	県負担金	その他特財	一般財源	合計																							
R4年度	0	0	0	0	76,818	76,818																							
R5年度	0	698,700	0	741,428	41,513	1,481,641																							
合計	0	698,700	0	741,428	118,331	1,558,459																							
事業の効果	九重小学校・栄小学校・栗原小学校の教室不足の可能性を解消することができ、児童のよりよい教育環境を整備することができる。																												

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 02 小学校費 01 学校管理費 11 施設整備に要する経費
事業名	小学校特別教室空調設備設置事業
担当課	教育局 教育施設課
事業期間	令和4年度 ～ 令和6年度
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	37 理科室・音楽室等の特別教室のエアコン設置を推進

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	619,685	56,601	0	406,100	0	156,984	14,696	604,989	
歳 出 内 訳	設計委託料	20,548	小学校特別教室空調設置工事設計委託料					14,696	5,852
	監理委託料	8,162	小学校空調設備設置工事監理委託料					0	8,162
	建築工事	590,975	小学校空調設備設置工事					0	590,975

事業の目的	特別教室に空調設備を設置することで、教育環境の充実を図ること。
事業の概要	<p>市内小学校を第Ⅰ期～第Ⅲ期のグループに分け、令和6年度までに順次設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第Ⅰ期(令和4年度当初 設計、令和5年度当初 工事) 対象校 9校 竹園東小、荃崎第一小、荃崎第三小、松代小、要小、柳橋小、沼崎小、九重小(教室転用工事と併せて実施)、栄小(教室転用工事と併せて実施) 第Ⅱ期(令和4年度12月補正 設計、令和5年度補正対応 工事) 対象校 9校 吾妻小、並木小、東小、上郷小、島名小、大曾根小、二の宮小、谷田部小、前野小 第Ⅲ期(令和5年度当初 設計、令和6年度当初 工事) 対象校 11校 荃崎第二小、桜南小、今鹿島小、竹園西小、吉沼小、小野川小、葛城小、栗原小 谷田部南小(トイレ改修事業と併せて実施) 手代木南小(長寿命化事業と併せて実施) 真瀬小(長寿命化事業と併せて実施) <p>※春日学園義務教育学校、秀峰筑波義務教育学校、学園の森義務教育学校及びみどりの学園義務教育学校については、整備済み</p>
事業の効果	教育環境の充実を図ることができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 12 教育施設維持管理に要する経費
事業名	学校施設バリアフリー調査
担当課	教育局 教育施設課
事業期間	令和5年度 ～
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	21,513	0	0	0	0	21,513	0	21,513	
歳 出 内 訳	委託料	21,513	学校施設バリアフリー調査委託料					0	21,513

事業の目的	市内すべての公立小中学校を対象とし、各学校の現状を把握し、以降のバリアフリー化整備の実施に向けた基礎資料とすることを目的とする。
事業の概要	○バリアフリー調査 市内すべての公立小中学校（小学校29校、中学校12校）のバリアフリー化整備の現状を調査し、文部科学省が示すバリアフリー化に関する整備目標に即し、今後の整備にむけた計画を策定する。
事業の効果	各学校のバリアフリー調査を行うことにより、今後のバリアフリー整備に向けた計画策定を行うことができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	02 総務費 01 総務管理費 08 企画費 11 企画調整に要する経費
事業名	バリアフリーマスタープランの策定
担当課	政策イノベーション部 企画経営課
事業期間	令和4年度 ～ 令和5年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	52 市内のバリアフリー化促進に関するマスタープラン策定と公共施設等の対応推進

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	10,218	5,000	0	0	0	5,218	7,429	2,789	
歳出内訳	報償費	600	バリアフリーマスタープラン策定協議会委員謝礼					60	540
	通信運搬費	16	バリアフリーマスタープラン策定協議会委員出欠返信					186	△ 170
	委託料	9,602	バリアフリーマスタープラン策定支援業務委託料					7,183	2,419

事業の目的	つくば市バリアフリーマスタープランを策定することで、本市のバリアフリー化の方針を示す。
事業の概要	<p>令和4年度に実施した基礎調査の結果や、外部有識者等で構成する「つくば市バリアフリーマスタープラン策定協議会」における議論等を踏まえ、移動等円滑化促進地区の設定を始めとした各項目(※)の方向性を明らかにしていくことで、本市の実情に即したプランの策定につなげる。</p> <p>※【記載が見込まれる項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 移動等円滑化促進地区における基本的な方針 ○ 移動等円滑化促進地区の位置及び区域 ○ 生活関連施設及び生活関連経路 ○ 心のバリアフリー ○ 公共交通事業者等又は道路管理者における事前届出 ○ 施設設置管理者におけるバリアフリー情報の提供 ○ その他(地域特性に応じた施策等) ○ 評価に関する事項
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市のバリアフリー化の方向性を示すことで、複数の関係者間で認識が共有され、事業化の際の円滑性が向上する。 ○ 旅客施設と道路との境界等において改修等を行う場合に、事前に市に届け出てもらえることができ、届出に対し市から変更の要請をすること等で、施設間の連携を図ることが可能となる。 ○ バリアフリーマップの作成について明記した場合は、各施設の管理者等からバリアフリーの状況について情報提供してもらうことで、円滑な情報収集が可能となる。 ○ 道路事業や市街地整備事業、都市公園・緑地等事業等において歩行空間の整備や公園のユニバーサルデザイン化を図る場合は、国の補助金(社会資本整備総合交付金など)の重点配分の対象となる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 02 老人福祉費 15 敬老事業に要する経費
事業名	敬老祝写真贈呈事業
担当課	福祉部 高齢福祉課
事業期間	令和4年度 ~ ※令和4年度は6月補正で対応
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	9,362	0	0	0	0	9,362	0	9,362	
歳 出 内 訳	需用費	692	消耗品費(宛名シール) 印刷製本費(通知文印刷)					0	692
	役務費	420	郵便料					0	420
	委託料	8,250	敬老祝写真贈呈委託料					0	8,250

事業の目的	長年にわたり社会の発展に寄与してこられた高齢者の方に対し、長寿を祝福し敬老の意を表す。
事業の概要	<p>○事業内容 敬老の日のお祝いとして記念写真撮影し、台紙仕上げにして贈呈する。市からは対象者に対して利用券と事業案内通知文等を送付する。撮影、印刷、台紙仕上げにし、対象者に贈呈する作業については市内写真事業者に委託する。</p> <p>○対象者 年度内に70、80、90、100歳の節目年齢を迎える方 対象者数見込み 5,000人 内訳(70歳2,270人、80歳1,960人、90歳680人、100歳90人)</p> <p>○予算 需用費 692千円 消耗品費(宛名シール)、印刷製本費(通知文印刷) 役務費 420千円 郵便料 委託料 8,250千円 写真贈呈委託単価 5,000円/人 対象者数見込み 5,000人 利用率見込み30% 5,000円×5,000人×30%×1.1=8,250,000円</p>
事業の効果	高齢者の方に対し、長寿を祝福し敬老の意を表することができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 02 老人福祉費 11 在宅高齢者等福祉事業に要する経費
事業名	高齢者電動アシスト自転車購入費補助事業
担当課	福祉部 高齢福祉課
事業期間	令和5年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	36,750	0	0	0	0	36,750	0	36,750	
歳 出 内 訳	補助金	35,750	高齢者電動アシスト自転車購入費補助金					0	35,750
	補助金	1,000	高齢者自転車用ヘルメット購入費補助金					0	1,000

事業の目的	高齢者の自動車に代わる移動手段の確保 社会参加の促進、心身の健康増進、介護予防の推進
事業の概要	<p>電動アシスト自転車および自転車用ヘルメットの購入費の補助を行う。</p> <p>○対象者 70歳以上の方</p> <p>○補助額・2輪タイプ 購入価格の3/4補助 上限 50,000円 免許返納から1年以内は、さらに15,000円（購入金額が購入価格の3/4か50,000円の低い額に15,000円を加えた額未満の場合は実購入価格）</p> <p>・3輪・4輪タイプ 購入価格の3/4補助 上限 120,000円 免許返納から1年以内は、さらに30,000円（購入金額が購入価格の3/4か120,000円の低い額に30,000円を加えた額未満の場合は実購入価格）</p> <p>・ヘルメット購入補助 2,000円（2,000円未満は実購入価格）</p> <p>○要件等・つくば市内の自転車販売店で購入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入する自転車が安全基準適合車（BAA、TS、SG等）であること ・市の実施する交通安全講習会を必ず受講すること ・自転車損害賠償責任保険等へ加入すること ・本人が必ず3年以上使用すること ・予定数である自転車500台、ヘルメット500個に達した時点で受付を終了する
事業の効果	<p>高齢ドライバーによる交通事故が社会問題となる中、自動車に代わる移動手段の確保に繋がるとともに、高齢者の社会参加の促進、心身の健康増進、介護予防の推進に資する。</p> <p>つくば市は「自転車のまち」のスローガンを掲げており、複数の自転車関連事業を実施している。高齢者を対象とした本事業を加えて実施することにより、市民全体で自転車のまちをつくっていくイメージも高まる。</p>

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 02 老人福祉費 11 在宅高齢者等福祉事業に要する経費
事業名	高齢者移動支援担い手育成事業
担当課	福祉部 高齢福祉課
事業期間	令和5年度 ～
未来構想	Ⅱ 誰もが自分らしく生きるまち
戦略プラン	Ⅱ-1 地域が支え合い、医療、介護、福祉が充実したまちをつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	660	0	0	0	0	660	0	660
委託料	660	運転者講習会委託料					0	660
歳出内訳								

事業の目的	既存の福祉有償運送団体及びボランティア輸送団体の支援 移動支援に興味を持っている市民が実際に支援を始めるための一助とすること
事業の概要	福祉有償運送の運転者となる場合に受講が必要な運転者講習会を市が主催する。講習の修了者には受講証を発行する。 年に1回実施。運転者講習を出張で行っている団体に講習や教材、車両の用意を委託し、場所の確保を市で行う。 ○予算 委託料 660千円 内訳 講師派遣料 350千円 賃借料(車両等) 100千円 事務経費(教材等) 210千円
事業の効果	市内で活動する福祉有償運送団体やボランティア輸送団体から、運転者などの担い手不足が課題としてあげられている。その中で、福祉有償運送の運転者になる場合に受講が必要な運転者講習会を市が主催することにより、既存の福祉有償運送団体及びボランティア輸送団体の支援をするほか、移動支援に興味を持っている市民が実際に支援を始めるための一助とする。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 02 老人福祉費 14 老人生きがい対策に要する経費
事業名	高齢者文化芸術鑑賞助成事業
担当課	福祉部 高齢福祉課
事業期間	令和5年度 ~
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	2,000	0	0	0	0	2,000	0	2,000	
歳出内訳	交付金	2,000	高齢者文化芸術鑑賞助成金					0	2,000

事業の目的	高齢者の健康の保持増進を図るとともに、社会参加の促進及び生きがいづくりの推進を図ることを目的とする。
事業の概要	<p>70歳以上の高齢者が文化芸術振興事業（つくば市とつくば文化振興財団の共同主催により市内の文化施設で開催する事業）のチケットを購入する際の費用の一部を助成することにより、高齢者の生きがいづくりの推進を図ることを目的として行う。</p> <p>対象者 ・ 市内に居住する70歳以上の方。 ・ つくば市文化芸術振興事業のチケットを購入する方。</p> <p>助成額 ・ チケット販売価格に対して1,000円を助成する。 ・ 1人1公演ごとに助成する。</p> <p>対象事業 ・ つくば市とつくば文化振興財団の共同主催により市内の文化施設で開催する事業 ・ 令和5年8月から開催される事業とする。</p> <p>助成方法 ・ 対象者が、チケットを購入する際に、チケット販売価格から1,000円を除した金額を支払い、除した金額を市が負担することで助成を行うものとする。</p>
事業の効果	つくば市文化芸術振興事業の公演等のチケット購入の助成を行うことで、公演に参加し、楽しみの機会が増え生きがいづくりの推進を図ることができる。公演は演劇や伝統芸能、音楽、舞踊など多岐にわたるため幅広いニーズに対応できる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

介護保険事業 特別会計	03 地域支援事業費 02 一般介護予防事業費 01 一般介護予防事業費 17 傾聴ボランティア事業に要する経費
事業名	傾聴ボランティア事業
担当課	福祉部 地域包括支援課
事業期間	令和5年度 ～
未来構想	Ⅱ 誰もが自分らしく生きるまち
戦略プラン	Ⅱ-2 人生100年時代に生涯いきいきと暮らせるまちをつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	2,763	587	345	0	1,091	740	0	2,763	
歳出内訳	報酬	1,868	会計年度任用職員(保健師)報酬 1名					0	1,868
	職員手当等	374	会計年度任用職員(保健師)期末手当					0	374
	報償費	90	傾聴ボランティア講座講師謝礼					0	90
	旅費	77	会計年度任用職員(保健師)費用弁償					0	77
	需用費	250	事務用消耗品費、テキスト費					0	250
	役務費	104	啓発用チラシ、ポスター、郵送料、ボランティア活動保険料					0	104

事業の目的	介護保険法に規定する地域支援事業における一般介護予防事業として、高齢者が住み慣れた地域で人と人とのつながりを継続できる取り組みを推進する。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 傾聴ボランティア養成講座を開催し、ボランティアの育成を行う。 登録した利用者及びボランティアのマッチングを行い、利用者宅へ派遣する。 利用者宅へ訪問した結果により、フォローアップを行い、必要時には専門機関へつなげる。 <p>○財源(介護保険特別会計)</p> <p>国 587千円 県 345千円 市(一般会計) 345千円 介護保険料(1号) 740千円(介護保険事業特別会計の一般財源) 介護保険料(2号) 746千円</p>
事業の効果	高齢者が地域から孤立することを防ぎ、介護予防や認知症予防につなげる。またボランティア活動をする地域住民の地域貢献や社会参加を推進・支援し、介護予防を推進していく。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 03 障害者福祉費 16 障害福祉サービスに要する経費
事業名	障害福祉サービス給付事業
担当課	福祉部 障害福祉課
事業期間	継続
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	5,474,277	2,737,138	1,368,568	0	0	1,368,571	4,869,853	604,424
歳出内訳	5,474,277	障害福祉サービス給付費					4,869,853	604,424

事業の目的	障害者(児)の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、必要な障害福祉サービス(訪問系サービス・日中活動系サービス・施設系サービス等)に係る給付を行う。					
事業の概要	○予算概要(歳出)					
	障害福祉サービス (単位:千円)			障害福祉サービス (単位:千円)		
	科目名称	R4	R5	科目名称	R4	R5
	居宅介護給付費	147,102	157,569	地域移行支援給付費	167	167
	重度訪問介護給付費	321,477	366,156	地域定着支援給付費	151	151
	行動援護給付費	1,455	1,821	療養介護医療費	12,298	13,347
	同行援護給付費	2,311	2,921	自立生活援助給付費	40	40
	療養介護給付費	41,849	46,224	就労定着支援給付費	7,753	9,111
	生活介護給付費	853,060	908,705	障害福祉サービス 合計	3,129,966	3,437,231
	短期入所給付費	30,934	29,978			
	施設入所支援給付費	226,076	232,664	障害児通所支援 (単位:千円)		
	共同生活援助給付費	336,351	392,924	科目名称	R4	R5
	宿泊型自立訓練給付費	2,266	2,266	児童発達支援給付費	758,464	937,579
	自立訓練(機能訓練)給付費	9,475	9,475	放課後等デイサービス給付費	957,041	1,066,159
	自立訓練(生活訓練)給付費	60,740	65,076	保育所等訪問支援給付費	6,378	8,850
就労移行支援給付費	125,030	132,437	高額障害児給付費	620	697	
就労継続支援(A型)給付費	154,336	164,877	障害児相談支援給付費	17,264	23,641	
就労継続支援(B型)給付費	693,228	786,010	居宅訪問型児童発達支援給付費	120	120	
特定障害者特別給付費	44,854	48,300	障害児通所支援 合計	1,739,887	2,037,046	
高額福祉サービス給付費	1,227	1,227				
計画相談支援給付費	57,786	65,785				
	※国庫負担率 1/2 県負担率 1/4					
事業の効果	障害者(児)に対して、必要な障害福祉サービスに係る給付を行うことで、日常生活及び社会生活を総合的に支援することができる。					

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 02 児童福祉費 01 児童福祉総務費 17 子どもの未来支援に要する経費
事業名	子どもの学習支援事業
担当課	こども部 こども未来課
事業期間	平成29年度 ～
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	56-1 こどもたちが安心して過ごせる学習拠点やみんなの食堂の整備推進 [つくばこどもの青い羽根学習会]

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	34,154	16,142	0	0	1,870	16,142	31,228	2,926
負担金	34,154	子どもの学習支援事業負担金					31,228	2,926
歳出内訳								

事業の目的	家庭の経済的な状況に左右されず、子どもたちが安心して勉強し生活できる環境づくりを推進し、貧困から貧困への負の連鎖を断ち切ることで、将来世代に貧困を継続させない仕組みづくりを行う。
事業の概要	<p>学習支援団体との協働による「つくばこどもの青い羽根学習会」の実施</p> <p>(1) 学習支援 学校の勉強の復習、宿題の習慣づけ、学び直し、受験のための進学支援等を利用者個々人の状況に応じて指導するとともに、ひとりで学習できる力を身につけられるようにすること。</p> <p>(2) 居場所の提供 利用者が安心して通える場所として、日常生活習慣や社会性を育むための支援を行い、将来への関心や自己肯定感を持つといった生きる力をつけられるようにすること。また、食事や軽食等の提供を行うこと。</p> <p>(3) 相談支援 将来の進路相談等、利用者の学習に係る相談について親身に対応し、日常生活や学校生活上の悩みに係る相談等については、必要に応じて関係機関等と連携し対応すること。</p> <p>(4) 効果測定 利用者個々人について、利用開始前に目標を立て、事業年度終了時にその振り返りを行うこと。利用者及びその保護者へ利用終了時にアンケートも実施し、事業の効果を測る。</p> <p>「つくばこどもの青い羽根学習会」学習支援拠点 全18か所 (前年度比+2か所) 内訳：週2日無制限型 3,564,000円×3か所、週2日20人型 2,616,000円×5か所 週1日20人型 1,606,000円×4か所、学校拠点型 328,000円×6か所 週2日食事提供 352,000円×2か所、週1日食事提供 176,000円×1か所 週2日軽食提供 132,000円×6か所、週1日軽食提供 66,000円×3か所 施設加算 60,000円×2か所</p>
事業の効果	生活保護または就学援助受給世帯の子どもに対して、学習支援や安心できる居場所の提供等を行うことができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 02 児童福祉費 01 児童福祉総務費 17 子どもの未来支援に要する経費
事業名	居場所づくり支援事業
担当課	こども部 こども未来課
事業期間	継続
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	28,663	8,915	4,457	0	10,833	4,458	16,025	12,638
委託料	28,663	居場所づくり支援事業委託料					16,025	12,638
歳出内訳								

事業の目的	複合的な問題を抱える子どもに対して、居場所を提供することにより、生活習慣の改善や孤立の防止等を通じて、将来の自立へとつながる支援を行い、貧困の連鎖を防止することを目的とする。
事業の概要	<p>業務委託による「つくばこどもの青い羽根居場所づくり事業」の実施</p> <p>(1) 基本的な生活習慣の習得支援や生活指導、学習の習慣付け、社会性を育むための取組等を行う事業</p> <p>(2) 保護者支援、世帯支援を行う事業（生活困窮者の自立相談支援窓口への接続、生活習慣・育成環境の改善に関する助言、子どもの教育・就労（進路選択等）に関する相談など）</p> <p>(3) その他、子どもの生活習慣の改善や孤立の防止のために必要な事業（食事の提供、市内全域を網羅する送迎）</p> <p>「つくばこどもの青い羽根居場所づくり事業」支援拠点1か所 原則週5日、1日当たりの利用者15名</p> <p>※R4までは原則週3日で実施していたが、R5からは原則週5日で実施する。</p>
事業の効果	居場所に関わるスタッフや他利用者とのコミュニケーション及び体験活動を通して、自己肯定感を育み、将来の夢や目標設定力を持つ力を養う。また、保護者と面談等を通し信頼関係を築き、保護者の抱えている困り感を共有し、悩み等に寄り添い、課題解決能力の向上を図る。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	04 衛生費 01 保健衛生費 02 予防費 11 予防接種に要する経費
事業名	子宮頸がんキャッチアップ接種事業
担当課	保健部 健康増進課
事業期間	令和4年度～令和6年度 ※令和4年度は6月補正で対応
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	156,024	0	0	0	0	156,024	0	156,024	
歳 出 内 訳	印刷製本費	153	詳細版リーフレット印刷、医療機関ストック用予診票印刷					0	153
	委託料	155,871	ワクチン接種委託料					0	155,871

事業の目的	定期予防接種として、キャッチアップ対象者（積極的な勧奨の差控えにより接種機会を逃した方）に、子宮頸がんワクチン接種を実施する。
事業の概要	<p>○対象者 平成9年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた女子で子宮頸がんワクチン接種が3回終了していない方</p> <p>○接種期間 令和4年4月1日から令和7年3月31日まで</p> <p>○接種回数 3回のうち不足分</p> <p>○実施場所 市内協力医療機関、その他の医療機関</p> <p>○接種方法 医療機関に予約をし、接種する。接種できるワクチンは2価、4価及び9価ワクチン。</p> <p>○接種料金 全額公費負担のため、自己負担なし</p>
事業の効果	子宮頸がんワクチンを接種することで、子宮頸がん予防につながる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 03 特別支援教育費 11 特別支援教育に要する経費
事業名	特別支援教育相談事業
担当課	教育局 特別支援教育推進室
事業期間	継続
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	15,715	4,660	0	0	0	11,055	4,091	11,624	
歳出内訳	報酬	704	つくば市教育支援委員会委員報酬					480	224
	報償費	360	医療的ケア指導医師謝礼					0	360
	旅費	286	つくば市教育支援委員会委員費用弁償					260	26
	需用費	381	消耗品費					351	30
	委託料	13,984	医療的ケア看護職員配置委託料					3,000	10,984

事業の目的	特別な配慮や支援を必要とする幼児、児童及び生徒の実態把握及び幼稚園や学校並びに保護者への必要な支援を行うとともに、個々の実態に応じた適切な教育措置に関する審議及び判定を行う。
事業の概要	<p>○事業概要</p> <p>未就学児を対象とした就学相談、在学児童・生徒を対象とした教育相談を通じ、医療的ケアを含めた特別な配慮や支援を必要とする者の実態を把握するとともに、各幼稚園・学校への巡回訪問を実施し、必要に応じて随時指導及び助言を行う。また、つくば市教育支援委員会（医師、学校教育関係者、児童福祉施設職員等で組織）において、幼児、児童及び生徒の適切な教育措置等に関する審議及び判定を行う。</p> <p>○医療的ケア支援事業</p> <p>幼稚園や学校において医療的ケアを必要とする幼児、児童及び生徒に対し、看護職員による医療的ケアを行うことにより、児童等の自立の促進、健康維持・増進と安全な学習環境の整備を図る。</p> <p>指導医師 幼稚園や学校における医療的ケア実施に関して、指導及び助言を行う。 看護職員 幼稚園や学校における医療的ケアを実施する。</p>
事業の効果	就学相談や教育相談による実態把握や巡回訪問、個々の実態に応じた適切な就学先や教育措置の審議及び判定を行うことで、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行うことができる。また、医療的ケアを必要とする幼児、児童及び生徒の在籍する幼稚園や学校に看護職員を配置することで、安全な学習環境の整備と保護者の負担軽減ができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 06 会計年度任用職員に要する経費
事業名	特別支援教育支援員の増員
担当課	教育局 特別支援教育推進室
事業期間	継続
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	51 特別支援教育支援員の充足による学習環境整備と一人一人の個性を大切にする教育の質向上

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	161,905	0	0	0	0	161,905	128,089	33,816
報酬	161,905	特別支援教育支援員報酬					128,089	33,816
歳出内訳								

事業の目的	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の自立や社会参加を目指して、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援ができるようにする。
事業の概要	<p>○事業概要 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の安全を確保するとともに、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援を行うことを目的として、当該児童生徒が在籍する小中学校・義務教育学校に会計年度任用職員（特別支援教育支援員）を配置する。</p> <p>○特別支援教育支援員 主な業務 担任教諭の補助として特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の生活支援、安全確保、学習支援を行う。 任用予定人数 182名（前年度比38名増）</p>
事業の効果	児童生徒数の増加とともに特別支援学級在籍者数は年々増加しており、特別支援教育支援員を増員することにより、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒に対して、充実した支援体制を確保できる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 13 ノバホール維持管理費 11 ノバホール維持管理に要する経費 14 つくばカピオ維持管理費 11 つくばカピオ維持管理に要する経費 15 地域交流センター費 11 地域交流センター維持管理に要する経費 16 市民ホール費 11 市民ホール管理に要する経費 10 教育費 05 社会教育費 01 社会教育総務費 19 ふれあいプラザ維持管理に要する経費
事業名	文化施設等改修事業
担当課	市民部 文化芸術課
事業期間	継続
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	997,688	0	0	700,000	0	297,688	465,049	532,639	
歳出内訳	ノバホール	110,200	舞台音響設備改修工事 外					72,006	38,194
	つくばカピオ	269,159	ホール舞台機構改修工事(第2期) 外					240,862	28,297
	地域交流センター	260,672	谷田部保健文教センター屋根外壁改修 外					119,730	140,942
	市民ホール	315,246	市民ホールとよさと屋上防水改修 外					30,086	285,160
	ふれあいプラザ	42,411	ロールカーテン等改修工事 外					2,365	40,046

事業の目的	老朽化した設備の更新や施設の再整備を長寿命化計画を基に行い、地域交流の拠点づくりや文化芸術の発信を行う。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ノバホール <ul style="list-style-type: none"> ・舞台音響設備改修工事 62,612千円 ・空調設備改修工事 19,976千円 ・直流電源装置整流器更新工事 25,234千円 ・小ホール改修工事 1,650千円 ○つくばカピオ <ul style="list-style-type: none"> ・空調機改修工事 1,715千円 ・ホール舞台機構改修工事(第2期) 59,810千円 ・高圧機器更新工事 1,298千円 ・消防設備修繕工事 20,394千円 ・アリーナ音響設備改修工事 116,490千円 ・アリーナ舞台機構改修工事 68,112千円 ○地域交流センター <ul style="list-style-type: none"> ・吉沼交流センター屋根外壁改修工事 50,996千円 ・豊里交流センター第1変電設備改修工事 46,563千円 ・谷田部保健文教センター屋根外壁改修 103,767千円 ○市民ホール <ul style="list-style-type: none"> ・市民ホールとよさと屋上防水改修 53,636千円 ・市民ホールとよさと吊天井耐震改修 122,100千円 ・市民ホールやたべ屋上外壁改修 112,970千円 ○ふれあいプラザ <ul style="list-style-type: none"> ・ロールカーテン等改修工事 35,794千円 ・プールジャグジー修繕工事 506千円
事業の効果	老朽化した施設の改修等を行うことで市民サービスの向上や効果的・効率的な施設の維持管理を図ることができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	04 衛生費 02 清掃費 01 清掃総務費 11 清掃に要する経費
事業名	一般廃棄物の最終処分方法に関する検討
担当課	生活環境部 環境衛生課
事業期間	令和5年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	14,421	0	0	0	0	14,421	0	14,421
委託料	14,421	最終処分方法検討支援業務委託料					0	14,421
歳出内訳								

事業の目的	一般廃棄物の焼却灰等を将来に渡って安全かつ安定的な処分が行えるよう、最終処分のあり方を検討するため。
事業の概要	一般廃棄物(ごみ)処理には焼却灰等の最終処分が必要であり、現状では市外の民間処分場での埋立または再資源化を行っている。今後の長期的な最終処分のあり方について、現状の市外の民間委託を継続するのか、市で最終処分場を建設するのか、また処分場を建設する場合のスケジュールや費用、必要な面積、維持管理コストなど様々な角度から調査・比較を行う。
事業の効果	長期的な視点で、つくば市に適した最終処分のあり方を整理することができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	06 農林水産業費 01 農業費 09 水田農業構造改革対策事業費 12 環境にやさしい農業推進に要する経費
事業名	葉刈り芝収集堆肥化推進事業
担当課	経済部 農業政策課
事業期間	平成30年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	78 芝野焼き対策のためのストックヤード増設

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	10,214	0	0	0	0	10,214	5,454	4,760	
歳 出 内 訳	回収量	3,558	20円×3,300kg×7か月×7か所×1.1					2,310	1,248
	運搬費	3,986	17,000円×7か月×4.35回×7か所×1.1					1,540	2,446
	コンテナ管理料	2,472	1,500円×214日×7か所×1.1					1,406	1,066
	コンテナ置場除草費用	198	1,500㎡×120円×1.1					198	0

事業の目的	葉刈り芝の野焼きを抑止するとともに、生活環境に配慮した農業を推進するため。
事業の概要	<p>○指定のストックヤードに葉刈り芝集積用コンテナを設置し、堆肥の原料として回収する。</p> <p>○令和4年度は、上記コンテナを5か所に設置している。 (酒丸地区・今鹿島地区・前野地区・吉沼地区：5月～11月、長高野地区：10月～11月)</p> <p>○令和5年度は2か所増設し、全7か所の設置を予定している。(最終目標数は市内10か所)</p> <p>○令和4年度回収実績(11月末終了)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今鹿島地区：30,140kg 酒丸地区：30,080kg 前野地区：3,170kg 吉沼地区：17,990kg ※5～11月までの7か月間設置 ・長高野地区：2,290kg ※10～11月までの2か月間設置 ・合計：83,670kg(回収数：計114回) <p>(参考)</p> <p>令和3年度回収実績 今鹿島地区：13,790kg 酒丸地区：22,370kg 前野地区：7,660kg 吉沼地区：790kg 合計：44,610kg(回収数：計56回) ※今鹿島地区、酒丸地区、前野地区は5月～11月の7か月間、吉沼地区は10月～11月の2か月間設置。</p>
事業の効果	当該事業の実施により、野焼きの抑止とCO2などの温室効果ガス発生を抑制することができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 12 圏央道推進費 11 圏央道推進に要する経費
事業名	スマートIC整備事業
担当課	建設部 道路整備課
事業期間	平成29年度 ~
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	321,960	84,500	0	201,540	0	35,920	584,058	△ 262,098	
歳出内訳	委託料	13,400	イベント運営業務委託料、施工監理委託料 ほか					12,100	1,300
	工事請負費	193,600	一般道交差点道路改良工事、標識設置工事					0	193,600
	負担金補助及び交付金	114,960	スマートIC建設事業NEXCO負担金					441,848	△ 326,888
	公有財産購入費	0	土地購入費					127,610	△ 127,610
	補償・補填及び賠償金	0	補償金					2,500	△ 2,500

事業の目的	つくばエクスプレス沿線開発の土地区画整理事業を含む地域の活性化、つくば市整備地域における企業活動の活性化、高速道路利用圏域の拡大、観光振興の支援及び災害時における防災機能の強化を図るため、圏央道の常総IC~つくば中央IC間にスマートICを設置する。
事業の概要	<p>○設置場所 つくば市島名 首都圏中央連絡自動車道つくば中央IC~常総IC間 外回り：一般県道土浦坂東線、内回り：主要地方道つくば真岡線 と接続する。</p> <p>○令和5年度事業内容 (仮称)つくばスマートICは、平成29年7月に新規事業化箇所を選定後、NEXCO(ネクスコ東日本)と基本協定を締結し、路線測量、土工詳細設計、用地測量、土地評価算定業務等を実施してきた。 令和5年度は、スマートIC本線部の工事を引続き実施するとともに、接続する一般道の交差点改良工事及び標識設置工事を新たに実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 : イベント運営業務委託料 9,000千円 : 工事積算業務委託料 1,100千円 : 施工監理委託料 3,300千円 ・工事請負費 : 一般道交差点道路改良工事 181,500千円 : ※(主)真岡線、(県)土浦坂東線 2か所 : 標識設置工事 12,100千円 ・負担金 : 建設事業NEXCO負担金 114,960千円 <p style="text-align: right;">合計 321,960千円</p>
事業の効果	圏央道のつくば中央IC~常総IC間にスマートICを設置することにより、つくばエクスプレス沿線開発の土地区画整理事業を含む地域の活性化、つくば市整備地域における企業活動の活性化、高速道路利用圏域の拡大、観光振興の支援及び災害時における防災機能の強化を図ることができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費	02 道路橋梁費	01 道路橋梁維持費	12 橋梁に要する経費
			02 道路新設改良費	11 道路新設改良に要する経費
			03 緊急地方道整備事業費	11 緊急地方道整備に要する経費
				12 都市計画道路整備に要する経費
	03 河川費	01 河川総務費		12 河川整備に要する経費
	04 都市計画費	02 街路事業費		11 街路整備に要する経費
事業名	道路・街路・橋梁・河川等整備事業			
担当課	建設部 道路整備課、建設部 都市計画道路整備推進室			
事業期間	継続			
未来構想	-			
戦略プラン	-			
ロードマップ	-			

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	2,265,380	577,493	0	1,340,500	0	347,387	1,757,830	507,550	
歳出内訳	旅費	52	普通旅費					51	1
	需用費	2,126	消耗品費、修繕料(パフォーマンスチャージ)					1,280	846
	役務費	43	通信運搬費(郵便料)					43	0
	委託料	312,447	測量・設計委託料、監理委託料等					262,506	49,941
	使用料及び賃借料	1,685	土地賃借料、設計積算システム機器賃借料等					1,763	△78
	工事請負費	1,188,800	土木工事					1,052,342	136,458
	公有財産購入費	398,784	土地購入費					117,113	281,671
	備品購入費	141	コンピュータ用ソフトウェア購入費					0	141
	負担金補助及び交付金	67	技術講習会受講料					67	0
	補償・補填及び賠償金	361,235	補償金					322,665	38,570

事業の目的	市民が快適で安全・安心を実感できるような都市基盤の整備を図るため、道路、街路、橋梁及び河川の整備等を行う。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○橋梁整備事業 45,727千円 <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁長寿命化修繕工事(講和橋、下広岡橋) 25,300千円 ○道路新設改良事業 830,413千円 <ul style="list-style-type: none"> ・市道新設改良工事測量設計委託料(13路線 L=2,320m) 122,980千円 ・市道新設改良工事(27路線 L=3,005m) 452,700千円 ○都市計画道路整備事業 824,444千円 <ul style="list-style-type: none"> ・測量設計委託料(小白谷谷田部線 L=1,850m) 10,593千円 ・酒丸上沢線道路改良工事 L=270m 108,000千円 ・台町萱丸線道路改良工事 L=180m 69,300千円 ・土地購入費、補償金(酒丸上沢線、台町萱丸線、上河原崎西環状線及び東環状線) 543,252千円 ○緊急地方道整備事業 79,792千円 <ul style="list-style-type: none"> ・市道1-71号線道路改良工事(L=200m) 75,000千円 ○河川整備事業 55,560千円 <ul style="list-style-type: none"> ・八幡川改修工事(L=80m) 45,000千円 ○街路整備事業 429,444千円 <ul style="list-style-type: none"> ・電線共同溝整備工事(1路線 L=170m 竹園) 139,000千円 ・歩行者通行帯整備工事(3路線 L=626m 天久保、二の宮) 97,050千円 ・通学路通行帯整備工事(5路線 L=924m 春日、花畑) 143,250千円
事業の効果	道路、街路、橋梁及び河川の整備等を行うことで、市民が快適で安全・安心を実感できるような都市基盤の整備を図ることができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 02 道路橋梁費 01 道路橋梁維持費 11 道路維持管理に要する経費 04 都市計画費 03 街路管理費 11 街路維持管理に要する経費
事業名	道路・街路維持管理事業
担当課	建設部 道路管理課
事業期間	継続
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	66 街路樹の保護を重視した道路管理

(単位:千円)

事業費	令和5年度	左の財源内訳					令和4年度	増減
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B
	2,091,825	59,689	0	455,100	122,339	1,454,697	1,747,360	344,465
歳出内訳	旅費	182	普通旅費、特別旅費				105	77
	需用費	78,942	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料				56,993	21,949
	役務費	641	通信運搬費、手数料、保険料				592	49
	委託料	953,759	施設管理委託料、設計委託料、委託料				898,848	54,911
	使用料及び賃借料	1,053	賃借料				952	101
	工事請負費	1,053,738	土木工事、修繕工事				786,847	266,891
	原材料費	3,440	工事材料費				2,956	484
	負担金補助及び交付金	70	負担金				67	3

事業の目的	安全・安心な市民生活を維持するため、市が管理する道路、水路、橋梁及び街路等の維持管理・修繕・補修工事や、通学路等の除草作業、街路樹の維持管理を実施すること。
事業の概要	<p>○道路維持管理事業 1,378,134千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ポンプ場等維持管理委託料(排水ポンプ5地区、調整池2地区) 15,191千円 改良舗装工事測量設計委託料(9路線 L=1,830m、橋梁1か所) 57,044千円 通学路等除草 254,309千円 橋梁調査業務委託料(N=109橋) 37,000千円 ポンプ交換工事(雨水排水ポンプ1基、非常用電源設置1か所) 86,350千円 改良舗装工事(12路線 L=2,035m) 284,955千円 橋梁長寿命化修繕工事(2橋) 58,960千円 路面再生工事(道路舗装1路線 L=500m) 40,084千円 維持補修工事(市内) 484,000千円 <p>○街路維持管理事業 713,691千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 街路維持管理委託料 528,451千円 樹木診断委託料 8,690千円 路面再生工事(道路舗装1路線 L=200m) 25,322千円 交通安全施設整備工事(1路線 L=250m) 12,067千円 維持補修工事(市内) 62,000千円
事業の効果	測量設計委託や道路改良工事、道路舗装工事を円滑に実施するとともに、舗装や側溝、交通安全施設の修繕及び通学路等の除草、街路樹の維持管理を行うことで、市民の安全な通行の確保ができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 01 都市計画総務費 15 公共交通対策に要する経費
事業名	視覚障害者向けナビゲーションシステム実証実験
担当課	都市計画部 総合交通政策課
事業期間	令和5年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	949	0	0	0	0	949	0	949
委託料	949	視覚障害者向けナビゲーションシステム実証実験業務委託料					0	949
歳出内訳								

事業の目的	筑波技術大学、首都圏新都市鉄道株式会社及びつくば市の連携事業として、視覚障害者向けナビゲーションシステム「shikAI」を使用した案内誘導の実証実験を行う。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○リンクス株式会社のスマートフォン用アプリ「視覚障害者向けナビゲーションシステム『shikAI』」を使用した、視覚障害者を目的地まで案内誘導するための実証実験を行う。 ○点字ブロック（交差点をはじめ、立ち止まる場所を知らせる点状ブロック）に貼られたQRコードを、「shikAI」アプリを通して読み取ることで、次の地点への案内がスマートフォンから音声で読み上げられる。 ○「shikAI」アプリでは、初めての試みとして、鉄道とバスという複数の公共交通のシームレスな乗継ぎをサポートする。「shikAI」アプリを用いて、つくばエクスプレスつくば駅ホームからつくばセンターバスターミナルの各バス乗場まで、問題なく案内誘導することができるかを検証することを目的とする。 ○3者の役割分担は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・筑波技術大学：実証実験の被験者の提供（視覚障害のある技大生は約100人）。 ・首都圏新都市鉄道株式会社：実証実験のフィールド（つくば駅構内）提供。つくば駅構内及びつくば駅南北自由通路への「shikAI」アプリ導入費用（QRコード設置費用、「shikAI」アプリのデジタル化費用及び運用費）並びにリンクス株式会社による実証実験支援費用の負担。 ・つくば市：実証実験のフィールド（つくばセンターバスターミナル）提供。つくばセンターバスターミナルへの「shikAI」アプリ導入費用の負担。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・つくば市地域公共交通計画に定めた、施策10「バス利用環境の整備・充実（バス停のバリアフリー化など）」の実現及びバリアフリー法への適合に資する。 ・つくば駅ホームからつくばセンターバスターミナル各バス乗場まで、「shikAI」アプリを用いた案内誘導が、実運用可能なレベルにあるかを検証できる。また、本実証実験を通じて、鉄道とバスという複数の公共交通間の案内誘導が可能か、屋外に設置したQRコードを夜間や雨天などの環境下で読み取り可能か、QRコードの耐久性に問題はないか、他の駅にも適用可能かなど、要素レベルでの評価検証ができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 01 都市計画総務費 15 公共交通対策に要する経費
事業名	つくバス運行事業
担当課	都市計画部 総合交通政策課
事業期間	継続
未来構想	Ⅱ 誰もが自分らしく生きるまち
戦略プラン	Ⅱ-5 多様な移動手段があるまちをつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	375,803	0	0	0	0	375,803	412,529	△ 36,726	
歳 出 内 訳	工事請負費	1,023	つくバス乗降場所整備工事					683	340
	負担金	374,780	つくバス運行負担金					411,846	△ 37,066

事業の目的	「つくば市地域公共交通計画」に基づき、路線バスを補完するつくバスの運行を行う。市内交通網の整備充実により、効率的な鉄道二次交通手段及び高齢者等交通弱者の移動手段の確保並びに環境負荷の軽減等の効果が見込める。
事業の概要	<p>○概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 「つくば市地域公共交通計画」において、つくば市のコミュニティバス「つくバス」は、市内のつくばエクスプレス各駅と周辺の既存市街地を結び、民間路線バスを補完する幹線としての役割を担う交通機能として位置付けられている。 種々の交通施策を展開することで、移動利便性の向上を図り、持続可能な公共交通網の構築を図る。 <p>(路線) 北部シャトル、小田シャトル、作岡シャトル、吉沼シャトル、上郷シャトル、西部シャトル、南部シャトル、谷田部シャトル、自由ヶ丘シャトル、荃崎シャトルの10路線</p> <p>○令和5年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 北部シャトル、小田シャトルへのバス停留所追加 鉄道駅の接続時刻やつくバス沿線の小学校の通学時間帯を考慮した運行ダイヤの見直し 北部シャトル「妻木」バス停留所の整備工事 利用率の低いバス停留所の見直し検討
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> つくば市地域公共交通計画に定めた、施策01「開発状況や利用状況を踏まえた柔軟な路線やバス停の見直し」、施策04「柔軟な運行形態の見直しに向けた定量的な判断基準の設定」、施策10「バス利用環境の整備・充実(バス停のバリアフリー化など)」等の実現に資する。 上記事業の実施により、自家用車ではなく公共交通の利用を促進することで、つくバスの収支率改善、市内の道路渋滞の緩和、カーボンニュートラルの実現などに寄与する。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 01 都市計画総務費 15 公共交通対策に要する経費
事業名	路線バス運行実証実験事業
担当課	都市計画部 総合交通政策課
事業期間	継続
未来構想	Ⅱ 誰もが自分らしく生きるまち
戦略プラン	Ⅱ-5 多様な移動手段があるまちをつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	21,588	0	0	0	0	21,588	7,561	14,027
負担金	21,588	路線バス運行実証実験事業負担金					7,561	14,027
歳出内訳								

事業の目的	市域の進展に伴う公共交通網の構築を図るため、民間路線バスを活用した実証実験により、ニーズ等の把握を行う。
事業の概要	<p>○概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の開発の進展に伴う公共交通へのニーズに対応するため、民間路線バスを活用した公共交通網の構築に向けた実証実験を行う。 民間路線バスを活用することにより、市は新たなバス車両を購入することなく実証実験が可能となり、経費節減につながる。 民間路線バス事業者は、新規路線の事業採算性を市の予算で検証することが可能になる。 <p>○関鉄パープルバス株式会社 石下・土浦線経路変更負担金 314千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者が少なかった西平塚地区のバス停留所を学園の森地区に移設することで、学園の森2丁目・3丁目からつくばセンター(つくば駅)への移動需要に対応した路線を運行 令和4年(2022年)4月1日から、最大3年間の実証実験とする。 (新設停留所) 学園の森西、学園広場公園、まんりょう公園、みどり公園、学園の森東 <p>○関東鉄道株式会社 松代南循環新規運行負担金 21,274千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 公務員住宅解体後の戸建て住宅の建設が著しい松代五丁目や路線バス空白地帯の松野木地区とつくばセンターを結ぶ新規路線を運行 令和4年(2022年)10月1日から、最大3年間の実証実験とする。 (運行経路) つくばセンター～松野木東～手代木団地～松代五丁目～つくばセンター 1日23便の運行
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> つくば市地域公共交通計画に定めた、施策05「公共交通の利便性向上に向けた実証実験運行の実施」の実現に資する。 上記事業の実施により、予算を抑え、民業圧迫することなく市内の公共交通網を構築できるほか、市内の道路渋滞の緩和、カーボンニュートラルの実現などに寄与する。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 01 都市計画総務費 20 自転車のまちづくり推進に要する経費
事業名	自転車のまちづくり事業(拠点整備、イベント、計画策定、バスラッピング)
担当課	都市計画部 サイクルコミュニティ推進室
事業期間	令和4年度～
未来構想	II 誰もが自分らしく生きるまち
戦略プラン	II-5 多様な移動手段があるまちをつくる
ロードマップ	62-1 自転車の拠点整備、62-2 シェアサイクル導入、62-3 自転車通勤への転換支援、88-2 筑波東中跡地をジオパークやサイクリングの拠点へ

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	73,382	250	0	0	2,193	70,939	241,853	△ 168,471	
歳 出 内 訳	需用費	8,690	自転車拠点における消耗品、印刷製本費、光熱水費等					0	8,690
	役務費	2,541	バスラッピング宣伝広告料					1,419	1,122
	委託料	28,115	自転車拠点施設管理委託料、計画策定委託料、イベント委託料					6,974	21,141
	使用料及び賃借料	512	自転車拠点における使用料、賃借料					0	512
	工事請負費	15,123	BMXコース整備工事、体育館・武道場改修工事					233,460	△ 218,337
	備品購入費	8,544	自転車拠点における備品購入費					0	8,544
	負担金補助及び交付金	9,857	自転車拠点運営協働事業負担金					0	9,857

事業の目的	様々な世代や、初心者から上級サイクリストまで幅広い市民に働きかける事業を実施することで自転車のまちづくりを推進し、サイクルコミュニティの醸成、自転車利用の機運醸成を図る。
事業の概要	<p>○自転車拠点施設運営：旧筑波東中学校を改修し、レンタサイクル貸出、休憩機能、自転車用消耗品販売、点検・修理機能、ロッカー・シャワー・会議室、BMXレーシングコース、パーク&サイクルライド用駐車場等から構成される自転車拠点を運営する。</p> <p>○イベント開催：筑波山麓において、サイクルスタンプラリー、子ども向け自転車安全教室、ローカルマーケット等のイベントを実施する。開催時期は令和5年秋口を予定。</p> <p>○広域サイクリングモニターツアー実施：令和4年度に検討中の広域サイクルツアーのコースにおいてモニターツアーを実施し、地域振興に資するコース設定を実現する。</p> <p>○「市町村自転車活用推進計画」の策定：平成27年度に策定したつくば市自転車安全利用促進計画や、自転車のまちつくば推進委員会での議論を踏まえ、自転車の利用を日常的利用・嗜好的利用の縦軸と、環境・健康・安全・観光(地域振興)・その他の横軸の2方向から分析し、これからのつくば市における自転車活用推進施策を位置付けることで、市民の自転車活用を推進する。</p> <p>○ラッピングつくばバスの運行：自転車の安全利用を啓発するラッピングバスが市内を走行することにより、「自転車のまち」としてのつくば市の姿を広く宣伝することができ、安全な自転車利用の推進に資する。</p>
事業の効果	自転車拠点から筑波山周辺の観光資源への誘導による地域経済の振興を図る。イベントを通じて広く市民が自転車に触れることで、日常的な利用を促進することが可能となる。イベントに参加していない市民に対しても、つくば市が自転車施策に力を入れていることを知ってもらい、自転車に乗るきっかけとなる。また、各事業をとおしてサイクルコミュニティの輪を広げ、そこから溢れ出たアイデアを市の自転車施策にいかすことでさらにコミュニティが広がるといった好循環の実現に資する。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	09 消防費 01 消防費 01 常備消防費 14 消防指令業務に要する経費
事業名	高機能消防指令センター総合整備事業
担当課	消防本部 消防指令課
事業期間	令和5年度 ~ 令和6年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	9,949	0	0	0	0	9,949	0	9,949
設計委託料	9,949	高機能指令センター設計業務委託料					0	9,949
歳 出 内 訳								

事業の目的	高機能指令センターの運用開設から10年経過時に、構成するPC機器・気象観測装置等の交換・整備をすることでシステムの安定化を図る必要がある。また通信回線の移行に対応した機器への更新が必要となる。
事業の概要	<p>○指令システムに関わるPC及びネットワークを含む付属機器の交換、気象観測装置の再検定、無停電電源装置の蓄電池耐用年数期限切れによる更新等を行うもの。</p> <p>○整備スケジュール案 令和5年度 設計委託費 9,949千円 令和6年度 監理委託費 4,996千円 備品購入費 547,173千円</p>
事業の効果	119番着信時における速やかな災害現場の特定により、円滑かつ適切な現場活動につながり、住民の生命、財産を守り、地域の安心安全の向上を図るとともに、災害に強いまちづくりに寄与する。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	09 消防費 01 消防費 02 非常備消防費 11 非常備消防運営に関する経費
事業名	消防団員の処遇改善
担当課	消防本部 地域消防課
事業期間	令和5年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	47,505	0	0	0	0	47,505	44,280	3,225	
歳 出 内 訳	非常勤職員報酬	43,553	消防団員出動報酬					0	43,553
	費用弁償	3,952	費用弁償					44,280	△ 40,328

事業の目的	総務省消防庁から「消防団員の報酬等の基準の策定等について」が通知されたことに伴い、消防団員の処遇改善に向け必要な措置に取り組み、団員の確保に繋げる。
事業の概要	<p>総務省消防庁から通知された「非常勤消防団員等の基準」に準じて報酬及び費用弁償の見直しを図る。</p> <p>(1) 出動に応じた成果的手当(出動手当)を費用弁償から報酬とし、標準額に準じた金額に見直しを図る。</p> <p>(2) 団員が災害出動、警戒、訓練、その他の職務に従事したときは、出動に係る報酬及び費用弁償(団員の出動に伴う実費分)を支給する。</p>
事業の効果	消防団員の処遇が改善されることにより、団員数の確保、ひいては地域防災力の一層の充実・強化に繋がる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	07 商工費 01 商工費 02 商工業振興費 17 スタートアップ推進に要する経費
事業名	起業家育成支援事業
担当課	政策イノベーション部 スタートアップ推進室
事業期間	令和4年度～令和9年度
未来構想	IV 市民のために科学技術をいかすまち
戦略プラン	IV-2 地元で頑張る組織や人が成長し続けるまちをつくる
ロードマップ	106 起業家や研究機関と地元企業の連携による新規事業創出

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	6,000	0	0	0	0	6,000	1,000	5,000
負担金	6,000	起業家育成講座運営負担金					1,000	5,000
歳出内訳								

事業の目的	筑波研究学園都市に集まる産官学の研究者や技術者の起業マインドを醸成する。
事業の概要	<p>筑波大学が実施する「つくば次世代アントレプレナー育成プログラム～ビジネスデベロップ講座～」において、研究シーズの事業化の必須技能を実践的に学び、投資対象となるビジネスプラン（顧客の課題を解決する製品と市場規模の提示）に昇華させることを目的とした実践型研修プログラム。9月～12月において月1～2回の集合研修を実施し、それ以外の期間は、随時専門家の助言を受けながら、参加者で組むチーム内でビジネスプランを磨いていく。</p> <p>全体概算事業費 12,000千円 つくば市 6,000千円 筑波大、国研、民間等 6,000千円</p> <p>対象者：つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム会員機関及びつくば市内外の産官学機関で、起業希望者（研究・技術シーズ保有者）、起業支援希望者（経営側、伴走支援側）</p>
事業の効果	参加者が保持する研究シーズが事業化され、多くのスタートアップが創出されることや既存企業における新規事業の創出が期待できる。また、多種多様なスタートアップの創出は学生の地元就職機会の増加にもつながることが期待できる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 10 市民生活対策費 20 市民協働推進に要する経費
事業名	労働者協同組合の設立支援事業
担当課	市民部 市民活動課
事業期間	令和5年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	4,557	0	0	0	0	4,557	0	4,557
委託料	4,557	団体設立支援業務委託					0	4,557
歳 出 内 訳								

事業の目的	令和4年10月1日に労働者協同組合法が施行されたことに伴い、市民、NPO法人、ボランティア団体等に対し、制度の概要及び実践事例を学ぶ学習会や相談会を開催することで、労働者協同組合の周知及び理解に結び付け、地域課題の解決や地域の活性化を展開し、持続可能で活力あるまちづくりを目指す。
事業の概要	<p>○ 労働者協同組合に関する周知・相談業務</p> <p>一般市民や既に市内で地域活動を行っている団体等（NPO法人含む）に対し労働者協同組合法と「協同労働」という働き方の特徴や地域での活用の仕方を周知する。周知方法は、ホームページ、広報紙、チラシ配布、SNS等を活用する。さらに説明会、学習会を通して、個別相談に応じる。</p> <p>1 事業周知 チラシの作成及び配布、ホームページ立ち上げ、広報紙、SNS等を活用</p> <p>2 学習会 ①市民向け学習会（基礎編、実践紹介編、実践編） ②市民活動団体向け学習会（基礎編、実践紹介編、実践編）</p> <p>3 講座 地域の現状を知り、どんな地域にしたいかの意見を出し合い、学びあい、その想いを形にしていく講座</p> <p>4 個別相談会 労働者協同組合に関する個別の相談会</p> <p>5 交流会 実践現場の見学や現場で働く人からの講話と意見交流会</p>
事業の効果	労働者協同組合は、自分たちで出資、経営、労働を一体化して働くことが可能になることから、株主や経営者の意向に左右されることなく地域課題の解決や地域の活性化に取り組む市民主体のまちづくりの機運を高めることが期待できる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 06 保健体育費 02 体育施設費 12 (仮称) みどりの学校プール建設に要する経費
事業名	(仮称) みどりの学校プール建設事業
担当課	市民部 スポーツ施設整備室
事業期間	令和4年度 ~ 令和5年度
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち、III 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	I-2 資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる、III-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力をはぐくむ
ロードマップ	100 複数校で共同利用する温水プールを市民も利用できるよう整備

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	1,706,320	104,538	0	1,107,700	433,049	61,033	1,118,618	587,702
歳出内訳	旅費	30	工場検査出張費				30	0
	委託料	15,858	プール建設工事監理委託料				9,215	6,643
	工事請負費	1,629,429	プール建設工事				1,109,373	520,056
	備品購入費	61,003	プール用備品				0	61,003

事業の目的	T X沿線を主とした一部の学校プールを集約し、学校授業以外の時間帯は一般開放を行うことで、市民の健康づくりの場となる、通年利用可能な屋内温水プールを建設することを目的とする。																																				
事業の概要	<p>○ (仮称) みどりの学校プールの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地面積 約25,000㎡ 建物規模 約3,000㎡ (RC造一部S造、SRC造) <ul style="list-style-type: none"> プール室 (1,600㎡) ※25mプール2槽、うち一槽は可動床 トレーニング室 (120㎡) コミュニティスペース (90㎡) 等を配置 スケジュール 建設工事 R4年度~R5年度 供用開始 R6年度 <p>・プール建設工事に係る継続費設定 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">工事請負費</th> <th rowspan="2">監理委託料</th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="4">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫補助</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年度</td> <td>1,086,286</td> <td>6,797</td> <td>1,093,083</td> <td>69,692</td> <td>735,700</td> <td>0</td> <td>287,691</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>1,629,429</td> <td>15,858</td> <td>1,645,287</td> <td>104,538</td> <td>1,107,700</td> <td>433,049</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,715,715</td> <td>22,655</td> <td>2,738,370</td> <td>174,230</td> <td>1,843,400</td> <td>433,049</td> <td>287,691</td> </tr> </tbody> </table>		工事請負費	監理委託料	合計	財源内訳				国庫補助	地方債	その他	一般財源	R4年度	1,086,286	6,797	1,093,083	69,692	735,700	0	287,691	R5年度	1,629,429	15,858	1,645,287	104,538	1,107,700	433,049	0	合計	2,715,715	22,655	2,738,370	174,230	1,843,400	433,049	287,691
	工事請負費					監理委託料	合計	財源内訳																													
		国庫補助	地方債	その他	一般財源																																
R4年度	1,086,286	6,797	1,093,083	69,692	735,700	0	287,691																														
R5年度	1,629,429	15,858	1,645,287	104,538	1,107,700	433,049	0																														
合計	2,715,715	22,655	2,738,370	174,230	1,843,400	433,049	287,691																														
事業の効果	屋内プールを整備することで、天候などに左右されず授業のカリキュラムが計画通り進むことや、学校授業で使用しない時間帯については、一般開放することで施設の有効活用を図り、市民の健康づくりの場としても提供できるよう事業展開を行い、市民サービスの向上にも寄与する。																																				

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	06 農林水産業費 01 農業費 08 地域農政推進対策事業費 11 農業経営対策に要する経費
事業名	スマート農業推進事業
担当課	経済部 農業政策課
事業期間	令和5年度 ~
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	2,000	0	0	0	0	2,000	0	2,000
補助金	2,000	500千円×4経営体					0	2,000
歳出内訳								

事業の目的	スマート農業の導入を支援することで、農作業の省力化によるコスト削減や規模拡大、農産物の高品質化による収益性の向上等、農業者の経営基盤の強化を図ることを目的とする。
事業の概要	<p>概要：スマート農業実施に必要な機器等購入に対する補助 補助対象者：市内で農業を営む認定農業者又は認定新規就農者又は人・農地プランの中心経営体 補助額：500千円（最大）×4件=2,000千円 補助率：1/2 補助対象機器：アシストスーツ、水管理システム、自走式草刈機、ドローン等で農林水産省の「スマート農業技術カタログ」に掲載されている機器及び同等の機能を有すると認められるもの</p>
事業の効果	農作業の省力化によるコスト削減や規模拡大、農産物の高品質化による収益性の向上等

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	07 商工費 01 商工費 02 商工業振興費 20 産業用地の検討に要する経費
事業名	産業用地検討事業
担当課	経済部 産業用地検討室
事業期間	令和5年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	110 企業誘致のための受け入れ環境の充実

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	5,406	0	0	0	0	5,406	0	5,406	
歳出内訳	旅費	52	普通旅費					0	52
	需用費	22	事務用消耗品					0	22
	委託料	5,332	産業用地検討調査委託料					0	5,332

事業の目的	企業誘致を促進するため、不足する市内の産業用地の創設等を検討する。
事業の概要	<p>工業団地等企業誘致の受け皿整備に関する調査を行う。</p> <p>①企業立地動向の把握 企業の立地状況を調査するとともに、企業へのアンケートやヒアリングを実施し、市内の用地需要を調査する。</p> <p>②候補地の調査 市内全域から産業集積が可能な候補地を調査する。</p> <p>③産業用地開発の検討 開発手法の検討、課題の整理等を行う。</p>
事業の効果	地域雇用の創出、税収の増加等、市内の経済活性化を図ることができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	07 商工費 01 商工費 03 観光費 17 ジオパーク拠点施設整備事業に要する経費
事業名	ジオパーク中核拠点施設整備事業 (旧筑波東中学校)
担当課	経済部 ジオパーク室
事業期間	令和元年度 ~ 令和5年度
未来構想	II 誰もが自分らしく生きるまち
戦略プラン	II-6 身近な自然を守り、楽しみ、持続させる
ロードマップ	88-1 筑波東中跡地をジオパークやサイクリングの拠点へ

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	95,903	0	0	0	5,051	90,852	150,769	△ 54,866	
歳出内訳	委託料	91,850	ジオパーク中核拠点施設展示物制作委託料					0	91,850
	監理委託料	0	ジオパーク中核拠点施設整備工事監理委託料					1,090	△ 1,090
	備品購入費	4,053	ジオパーク中核拠点施設準備用備品 (机、椅子等)					0	4,053
	工事請負費	0	ジオパーク中核拠点施設整備工事					149,679	△ 149,679

事業の目的	旧筑波東中学校に筑波山地域ジオパーク中核拠点施設を整備し、筑波山地域ジオパークの情報発信、地域連携、教育普及等の中心施設として活用することで、筑波山地域ジオパークの魅力を高め、ジオパーク活動を推進する。																																												
事業の概要	<p>○ジオパーク中核拠点施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示スペース 402.8㎡ 「ジオストーリーラウンジ」(探求型のアイテムを中心とした体験型展示) 「大地のライブスタジオ」(大地とのつながりを感じる映像展示、ライブ解説) 「文化財展示室」(ジオパークと関わりの深い文化財資料展示) 「発信・発見ラボ」(実験スペース、最新の研究成果紹介コーナー) ・事務スペース 535.6㎡(執務室、多目的室、会議室、倉庫) ・その他 262.1㎡(エントランス、休憩コーナー、トイレ) ・利用者駐車場 6,816.0㎡(約300台分) ※自転車拠点施設と共有 <p>○予算</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">改修工事</th> <th rowspan="2">監理</th> <th rowspan="2">展示物制作</th> <th rowspan="2">備品購入</th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="4">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫補助</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年度</td> <td>149,679</td> <td>1,090</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>150,769</td> <td>75,384</td> <td>67,800</td> <td>0</td> <td>7,585</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>91,850</td> <td>4,053</td> <td>95,903</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5,051</td> <td>90,852</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>149,679</td> <td>1,090</td> <td>91,850</td> <td>4,053</td> <td>246,672</td> <td>75,384</td> <td>67,800</td> <td>5,051</td> <td>98,437</td> </tr> </tbody> </table>		改修工事	監理	展示物制作	備品購入	合計	財源内訳				国庫補助	地方債	その他	一般財源	R4年度	149,679	1,090	0	0	150,769	75,384	67,800	0	7,585	R5年度	0	0	91,850	4,053	95,903	0	0	5,051	90,852	合計	149,679	1,090	91,850	4,053	246,672	75,384	67,800	5,051	98,437
	改修工事							監理	展示物制作	備品購入	合計	財源内訳																																	
		国庫補助	地方債	その他	一般財源																																								
R4年度	149,679	1,090	0	0	150,769	75,384	67,800	0	7,585																																				
R5年度	0	0	91,850	4,053	95,903	0	0	5,051	90,852																																				
合計	149,679	1,090	91,850	4,053	246,672	75,384	67,800	5,051	98,437																																				
事業の効果	中核拠点施設を整備することで、筑波山地域ジオパークの魅力を高めるとともに、今まで課題となっていた情報発信の強化、ジオパークを体験できる学習の機会の提供、観光事業や地域産業との連携などを加速することができる。																																												

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 12 防犯対策費 11 防犯対策に要する経費
事業名	防犯ステーション設置事業
担当課	建設部 防犯交通安全課
事業期間	令和5年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	102-1 つくばエクスプレス沿線への交番や郵便局の誘致活動を推進[交番誘致]

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	11,210	0	0	0	0	11,210	0	11,210	
歳 出 内 訳	設計委託料	1,980	防犯ステーション設置工事設計業務委託料					0	1,980
	建築工事	7,930	防犯ステーション設置工事					0	7,930
	備品購入費	1,300	防犯ステーション用備品(机、椅子、防犯カメラ等)					0	1,300

事業の目的	地域住民の安全を確保するため、みどりの地区に防犯ステーションを設置し、警察官OB等が属する防犯・環境美化サポーターによる立番、青色防犯パトロール車及び徒歩による巡回を行い、地域の安全・安心なまちづくりを図る。
事業の概要	<p>みどりの地区に交番が設置されるまでの間、交番に代わる施設として、地域の防犯活動の拠点を兼ねた防犯ステーションを設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄骨造平屋建 1棟 ・ 面積 4坪 (W5450×D2300)
事業の効果	みどりの地区へ防犯活動の拠点となる防犯ステーションを設置することで、防犯・環境美化サポーター、警察、つくば地区防犯協会の立寄所、また、防犯に関する綿密な情報交換の場として、各関係機関が連携を図ることができ、防犯活動の強化並びに防犯組織相互の連携向上に寄与する。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 05 社会教育費 03 文化財保護費 16 文化財展示施設管理に要する経費
事業名	平沢官衙遺跡歴史ひろば再整備事業
担当課	教育局 文化財課
事業期間	令和3年度～令和8年度
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I-2 資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	64,073	32,026	0	0	0	32,047	17,131	46,942	
歳出内訳	報償金	168	史跡平沢官衙遺跡再整備懇話会謝礼					224	△ 56
	設計委託料	0	史跡平沢官衙遺跡再整備実施設計業務委託					16,907	△ 16,907
	監理委託料	4,457	史跡平沢官衙遺跡再整備工事監理業務委託					0	4,457
	維持改修工事	43,465	史跡平沢官衙遺跡立体復元建物(土倉)再整備工事ほか					0	43,465
	工事材料費	15,983	史跡平沢官衙遺跡立体復元建物(板倉)木材購入					0	15,983

事業の目的	立体復元した高床倉庫屋根等の経年劣化に対処するため、再整備事業を実施して安全性や耐久性を確保するとともに、解説板等を新設し来場者に対しより分かりやすくなるよう改善する。
事業の概要	<p>○事業概要 復元建物の屋根や柱位置表示等の経年劣化に対する改修、及び活用のための解説板等の新設等</p> <p>○工程及び内容 令和3年度 再整備基本計画・基本設計策定 令和4年度 再整備実施設計策定 令和5年度 再整備工事着手。土倉茅葺き屋根の改修工事等 令和6年度 板倉板葺き屋根の改修工事等 令和7年度 校倉板葺き屋根の改修工事等 令和8年度 柱位置表示、解説板の改修工事等</p> <p>○令和4～8年度費用概算(基本設計額) 287,100千円</p>
事業の効果	史跡の安全な公開とよりわかりやすい解説等が可能となり、来訪者に郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める機会が提供できる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 06 保健体育費 02 体育施設費 13 (仮称) つくば市陸上競技場整備に要する経費
事業名	(仮称) つくば市陸上競技場整備事業
担当課	市民部 スポーツ施設整備室
事業期間	令和4年度～令和9年度 ※令和4年度は6月補正で対応
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I-2 資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる
ロードマップ	92 上郷高校跡地の利活用方針決定へ、 124 公式記録の取れる陸上競技場の整備

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	15,772	0	0	0	0	15,772	0	15,772	
歳 出 内 訳	報償費	500	基本計画策定検討委員謝礼					0	500
	委託料	15,272	基本計画策定支援業務委託料					0	15,272

事業の目的	市内に公式記録(日本陸上競技連盟が認める記録)の取れる陸上競技場がなく、他自治体などの施設を借用していることや市内スポーツ団体の意向等を踏まえて、市内の小中学生の公式陸上記録会・競技会及びつくば陸上競技選手権大会開催が可能であり、障害者や高齢者等誰もが利用できる施設を整備することを目的とする。
事業の概要	<p>○陸上競技場の概要(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所 つくば市上郷2494番地3(上郷高校跡地) ・公認種別 第4種公認(第3種相当整備) ・競 技 場 400mトラック1面(全天候舗装8レーン) 雨天走路、インフィールドは天然芝 ・観 客 席 メインスタンド1,500席、芝生スタンド2,500席 ・駐 車 場 普通車400~500台(大型バス用33台含む) <p>※詳細については、今後の基本計画等で決定する予定</p> <p>○整備スケジュール(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4~5年度 基本計画策定 ・令和6~7年度 基本設計・実施設計 ・令和8~9年度 工事 ・令和9年度下旬 供用開始
事業の効果	市内の小中学生の陸上記録会・競技会及びつくば陸上競技選手権大会開催が可能であり、障害者や高齢者等誰もが利用できる陸上競技場を整備することができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	04 衛生費 01 保健衛生費 07 環境衛生費 13 地球温暖化対策に要する経費
事業名	公共施設のゼロカーボン化に向けた再生可能エネルギー設備導入調査
担当課	生活環境部 環境政策課
事業期間	令和5年度
未来構想	IV 市民のために科学技術をいかすまち
戦略プラン	IV-4 地球に優しく「ごみ」のない低炭素で循環型のまちをつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	20,000	0	0	0	0	20,000	0	20,000
委託料	20,000	再エネ設備導入調査業務委託料					0	20,000
歳出内訳								

事業の目的	公共施設への太陽光発電設備設置推進に当たり、各施設における設置可能性、設置容量、設置手法等について調査するため。
事業の概要	<p>○業務内容 消費電力が比較的多い高圧受電の公共施設を対象として、屋根面積、建築構造、電力消費量等から、太陽光発電設備の設置可否及び効果的な設置容量、概算費用を調査する。</p> <p>○対象候補施設 庁舎や交流センターや老人福祉センター、保育所、小中学校等のうち、高圧受電施設100か所程度</p> <p>○業務手法及び目的 建築・電気図面や電力消費状況等から、机上で一定規模以上の設置可能性がある施設を抽出し、その施設を対象に現地調査を行う。候補施設における太陽光発電設備の設置場所や概算の設置可能容量、活用手法、設置コスト、CO2削減量を把握する。</p>
事業の効果	設置可否を確認することで、設置検討を進めることができる。また、設置可能容量及び概算費用を調査することで、設置の優先順位を設定することができ、公共施設における太陽光発電設備設置促進につなげることができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	04 衛生費 01 保健衛生費 07 環境衛生費 13 地球温暖化対策に要する経費
事業名	気候市民会議運営事業
担当課	生活環境部 環境政策課
事業期間	令和5年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	9,431	0	0	0	0	9,431	0	9,431	
歳 出 内 訳	通信運搬費	431	郵便料					0	431
	委託料	9,000	気候市民会議運営支援業務委託料					0	9,000

事業の目的	市民協働による脱炭素社会への推進を図る。
事業の概要	<p>○会議計画(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期: 令和5年7月から12月 ・開催回数: 5回程度開催 ・参加者: 無作為抽出で募った市民 ・参加人数: 30~60名程度 ・開催成果: 脱炭素社会構築に向けた提言書
事業の効果	<p>今後の脱炭素施策への市民意見の反映及び政策立案への提言内容の活用 市民の脱炭素社会への取組に対する主体性の促進 会議参加者自身の行動変容及び他者への波及効果</p>

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	04 衛生費 01 保険衛生費 07 環境衛生費 15 自然環境・有害鳥獣対策に要する経費
事業名	生物多様性つくば戦略の策定
担当課	生活環境部 環境保全課
事業期間	令和4年度 ～ 令和6年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	29,325	0	0	0	0	29,325	2,448	26,877	
歳 出 内 訳	報償費	360	懇話会委員謝礼、懇話会専門家謝礼					240	120
	旅費	16	懇話会委員旅費、先進地視察					8	8
	委託料	28,949	つくば戦略策定支援業務委託、基礎調査業務委託料					2,200	26,749

事業の目的	生物多様性やその恵みを正しく理解し、必要不可欠なものであることを認識し、豊かな自然を未来へ引き継いでいく。
事業の概要	<p>生物多様性基本法第13条第1項の規定及び第3次つくば市環境基本計画に基づき、生物多様性つくば戦略を策定する。</p> <p>戦略では、中・長期の目標・方針を定め、市民、事業者、市が役割を実践、共有しながら、豊かな自然を守り、未来へ引き継いでいくことを目指す。</p> <p>○市域の動植物の既存資料調査、現地調査</p> <p>○学識経験者、市民からなる懇話会を開催し、広く意見等を聴き、戦略に反映させていく。</p> <p>○市民意識調査（アンケート等により生物多様性に係る市民の意識、考えを把握する）</p> <p>○人と自然に関わる様々な課題の整理と取組の検討</p>
事業の効果	策定に当たっては、様々な地域の魅力や資源を掘り起こし、それらを評価するという過程が含まれる。また、市民、事業者、専門家、行政など多様な主体が連携し行動することが社会経済活動と自然が調和した魅力あふれる地域づくりにつながる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	07 商工費 01 商工費 03 観光費 11 観光施設整備に要する経費
事業名	筑波ふれあいの里キャンプ場改修事業
担当課	経済部 観光推進課
事業期間	令和4年度～令和6年度
未来構想	I 魅力をみんなで創まち
戦略プラン	I-2 資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる
ロードマップ	127-1 筑波ふれあいの里・豊里ゆかりの森・荻崎こもれび六斗の森のアウトドア体験環境をさらに充実(筑波ふれあいの里)

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	133,091	0	59,890	54,900	0	18,301	15,059	118,032
歳 出 内 訳	設計委託料	0	筑波ふれあいの里キャンプ場改修設計業務委託料				15,059	△ 15,059
	監理委託料	3,091	(仮称) 筑波ふれあいの里キャンプ場土木改修工事監理業務委託料				0	3,091
	土木工事	130,000	(仮称) 筑波ふれあいの里キャンプ場土木改修工事				0	130,000

事業の目的	令和2年度に策定した筑波ふれあいの里アウトドアフィールド基本構想に基づき、魅力あるアウトドア体験施設の整備を行う。
事業の概要	<p>令和4年度に実施した工事設計をもとに、令和5年度及び令和6年度にキャンプ場改修工事を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度 <ul style="list-style-type: none"> ・筑波ふれあいの里キャンプ場土木改修設計業務(11,792千円) ※発注済み ・筑波ふれあいの里キャンプ場建築改修設計業務(3,267千円) ※発注済み ○令和5年度 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度設計の土木改修設計をもとに土木工事を実施する。 <ol style="list-style-type: none"> ①既存テントサイトの改修(デッキ解体・テントサイトの拡張) ②進入路の拡幅 ③園路の整備 ④炊事棟の解体 ○令和6年度 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度設計の建築改修設計をもとに建築工事を実施する。 <ol style="list-style-type: none"> ①管理棟の改修 ②サニタリー棟の改修 ③浄化槽の入替え <p>※茨城県自然環境整備交付金を活用し事業を実施する予定。</p>
事業の効果	利用者のニーズに対応した筑波山地域における魅力あるアウトドア拠点の創出を図り、筑波山地域の魅力向上と地域経済の発展に寄与する。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	06 農林水産業費 01 農業費 11 豊里ゆかりの森施設管理運営費 11 豊里ゆかりの森維持管理に要する経費
事業名	豊里ゆかりの森整備事業（園内周遊コース整備等）
担当課	経済部 豊里ゆかりの森
事業期間	令和5年度
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I - 2 資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる
ロードマップ	93-1、127-2 自然環境を活用した魅力ある滞在型アウトドア体験施設を提供し、市内外からの誘客を促進することで、観光の振興及び地域経済の活性化を図る。

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	128,491	0	0	88,100	21,700	18,691	23,518	104,973	
歳 出 内 訳	委託料	4,147	昆虫館屋根外壁及びデッキ改修設計、エアコン更新設計、 駐車場測量設計、アスレチック遊具改修設計、 工芸館展示棟内装改修工事監理委託					8,426	△ 4,279
	工事請負費	124,344	宿舍あかまつデッキ改修工事、工芸館展示棟内装改修工 事、エアコン更新工事、アスレチック遊具更新工事（第1 期）、園内周遊コース整備工事、テニスコート改修工事、 キャビン屋根外壁等塗装改修工事（第2期）					15,092	109,252

事業の目的	施設利用者のニーズに合致した魅力ある滞在型アウトドア体験施設への改修及び施設の老朽化（築30年以上経過）に伴う計画的な整備を行う。		
事業の概要	土木工事 ○園内周遊コース整備工事	23,254千円	ゆかりの森内の散歩用周遊コース整備
	修繕工事 ○宿舍あかまつデッキ改修工事 ○工芸館展示棟内装改修工事 ○エアコン更新工事（2台） ○キャビン屋根・外壁等改修塗装工事 ○アスレチック遊具更新工事 ○テニスコート改修工事	27,962千円 16,907千円 1,320千円 8,250千円 5,434千円 41,217千円	デッキの改修 展示棟内装改修 エアコンの計画的更新 スペースキャビン屋根外壁改修 アスレチック遊具更新 テニスコート舗装の改修
	設計委託料 ○昆虫館屋根外壁及びデッキ改修設計 ○エアコン更新設計 ○駐車場測量設計(第1・第2) ○アスレチック遊具改修設計	1,716千円 946千円 451千円 110千円	昆虫館屋根外壁及びデッキ改修設計 R6～R8のエアコン更新設計 駐車場舗装工事に伴う用地の測量
	監理委託料 ○工芸館展示棟内装改修・あかまつウッドデッキ改修工事監理委託	924千円	
事業の効果	老朽化した施設を改修し、魅力を向上させることで利用者増を図ることができる。		

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 01 都市計画総務費 23 学園地区市街地振興に要する経費
事業名	つくばセンタービル公共施設改修事業
担当課	都市計画部 学園地区市街地振興課
事業期間	平成30年度 ～ 令和6年度
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I-3 つくばならではの街並みや体験を創出する
ロードマップ	117 老朽化が課題となっているセンタービル・センター広場のリニューアル

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	546,821	211,600	0	220,300	0	114,921	266,590	280,231	
歳 出 内 訳	監理委託料	19,590	つくばセンタービル公共施設改修工事監理委託料					9,795	9,795
	維持改修工事	527,231	つくばセンタービル公共施設改修工事					256,795	270,436

事業の目的	研究学園都市のシンボルとして長年親しまれているつくばセンタービルを、老朽化した設備の更新や公共施設の再整備を行いながら新たな市民活動の場を創出し、駅前にふさわしい持続可能都市の拠点としてリニューアルする。
事業の概要	<p>○リニューアルの概要 公共施設の再整備（吾妻交流センター、市民活動センター、消費生活センター、国際交流機能、ノバホール小ホール等）及びセンター広場の改修工事を行う。 継続費（R4～R6） 総額900,933千円</p> <p>○経緯 平成30年度 つくばセンタービルのあり方を検討 令和元年度 庁内施設担当課、区分所有者等関係者との協議 令和2年度 リニューアルの方向性案の策定、市民意見の募集、つくばセンタービル公共施設基本計画の策定 令和3年度 利用団体向け説明会、基本計画に対する市民意見の募集、基本計画の一部を変更、変更案に関する説明会・意見募集 令和4年度 実施設計完了、改修工事（～令和6年度） 令和5年度 施設の一部先行オープン 令和6年度 施設全体オープン （参考）なるべく既存施設の閉鎖を伴わないよう、市民活動センターと吾妻交流センターを施設の先行オープンに合わせて移設したのち、現在の場所を施工する。</p>
事業の効果	これまで分散していた公共施設を集約し、老朽化した設備の更新等を行うことで市民サービスの向上や効果的・効率的な施設の維持管理を図ることができる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 01 都市計画総務費 16 都市景観の形成に要する経費
事業名	市民協働景観形成事業
担当課	都市計画部 都市計画課
事業期間	令和5年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	4,015	0	0	0	0	4,015	0	4,015
歳出内訳	4,015	市民協働景観形成調査業務委託料					0	4,015

事業の目的	市民協働による景観に関する意識啓発
事業の概要	<p>本事業は、市民が身近に感じることでできる良好な景観を形成する要素となる樹木を対象として、樹種等を調査できるシステム等を活用し、市民と協働で樹木調査を行い、景観に与える影響やその効果について市民と共有することにより、景観に対する関心や意識の向上を図り、良好な景観形成を持続的かつ計画的に維持・保全するための新たなまちづくりの方向性を調査する。</p>
事業の効果	<p>景観形成における樹木の重要性を認識してもらうことで、景観に関する市民の意識を啓発することができる。</p>

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 05 公園管理費 11 公園維持管理に要する経費
事業名	公園管理台帳システムの構築及び樹木医による診断
担当課	建設部 公園・施設課
事業期間	令和5年度 ～
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-1 こどもも親も楽しく育つ環境をつくる
ロードマップ	134-2 公園ごとの特色を大切にしたい維持管理と情報発信の充実〔公園の維持管理等〕

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	26,323	0	0	0	0	26,323	0	26,323	
歳出内訳	委託料	17,633	公園台帳管理システムデータ構築業務委託					0	17,633
	委託料	8,690	樹木診断調査業務委託					0	8,690

事業の目的	多くの公園が供用開始されて30年以上経過しており、図面等が紙媒体のみの公園もあるため、GISを利用した公園台帳管理システムを構築し、紙媒体の電子データ化を実施する。併せて樹木医による診断を行い、診断結果も取り込むことで、公園施設等の一元管理に資することを目的とする。
事業の概要	<p>○公園台帳管理システムデータ構築業務委託 事業内容 図面等の紙媒体を電子データに変換し、空間情報と重ね合わせて利用できるようにするとともに、施設・遊具・樹木等の修繕履歴、苦情・要望等への対応履歴等のデータを一元管理できるよう、公園台帳管理システムを構築する。</p> <p>既存公園台帳資料調査 1式 公園台帳図書ファイリングデータ整備 7,000枚 公園台帳管理システム機能案作成 1式 等</p> <p>継続費R5-6 R5:17,633千円、R6:17,193千円 計:34,826千円</p> <p>○樹木診断調査業務委託 事業内容 公園内の樹木について、樹木医による診断を実施し、危険木の選定や樹木管理について、報告書を取りまとめる。</p> <p>樹木外観診断(幹周120cm~240cm) 250本</p>
事業の効果	公園台帳管理システムが構築されることで、紙媒体に頼ることなく、現場においてタブレット等で必要な資料をすぐに呼び出すことができ、現地確認の精度が高まる。施設等の修繕履歴や相談対応履歴が一元管理されることで、データの抽出や検索が容易になり、計画的な修繕や更新を行うことが可能になる。

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 04 公園建設事業費 11 公園建設に要する経費
事業名	公園建設事業
担当課	建設部 公園・施設課
事業期間	継続
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-1 こどもも親も楽しく育つ環境をつくる
ロードマップ	133 子どもが自由に自然の中で遊べるプレイパークの整備を推進

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	739,648	249,100	0	333,700	63,100	93,748	444,998	294,650	
歳 出 内 訳	報償費	216	緑の基本計画委員謝礼					0	216
	需用費	52	図書購入費					52	0
	役務費	100	土地購入不動産鑑定料					100	0
	委託料	53,042	基本設計・実施設計業務委託料、緑の基本計画見直し業務委託料等					30,173	22,869
	工事請負費	232,133	萱丸3号近隣公園、上河原崎・中西地区市民緑地、スケートボードパーク整備工事					176,173	55,960
	公有財産購入費	242,980	萱丸トンボ池用地購入費					57,900	185,080
	負担金補助及び交付金	211,125	上河原崎・中西特定土地区画整理事業公園公共施設管理者負担金等					180,600	30,525

事業の目的	こどもも親も楽しめる遊べる場として、萱丸地区、さくら運動公園内施設整備、上河原崎・中西地区に公園等の場を整備する。																																																					
事業の概要	<p>①萱丸地区3号近隣公園整備工事：みどりの地内に公園整備工事を行う。</p> <p>②市民緑地整備工事： 上河原崎・中西地区の市民緑地について整備工事を行う。</p> <p>③さくら運動公園内施設整備工事： さくら運動公園内に管理棟の設置及び電力引込工事を行う。</p> <p>④萱丸トンボ池用地購入費 R1～5年度にかけて用地を購入する。R5年度は6,311.02㎡を取得予定。 総面積25,180㎡</p> <p>⑤上河原崎・中西特定土地区画整理事業公園公共施設管理者負担金 区画整理地内に整備する公園面積の一定割合を超える分を県・UR・市との協議に基づき、市が取得費として費用を負担する。</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">①萱丸地区 近隣公園</th> <th rowspan="2">②上河崎・ 中西地区市 民緑地整備</th> <th rowspan="2">③さくら運動 公園内施設 整備</th> <th rowspan="2">④トンボ池 用地購入</th> <th rowspan="2">⑤公管金</th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="5">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫補助</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5年度</td> <td>218,229</td> <td>6,314</td> <td>7,590</td> <td>242,980</td> <td>210,000</td> <td>685,113</td> <td>249,100</td> <td>63,100</td> <td>323,000</td> <td>0</td> <td>49,913</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>125,631</td> <td>0</td> <td>800</td> <td>57,900</td> <td>180,000</td> <td>364,331</td> <td>142,500</td> <td>0</td> <td>198,900</td> <td>0</td> <td>22,931</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>343,860</td> <td>6,314</td> <td>8,390</td> <td>300,880</td> <td>390,000</td> <td>1,049,444</td> <td>391,600</td> <td>63,100</td> <td>521,900</td> <td>0</td> <td>72,844</td> </tr> </tbody> </table>		①萱丸地区 近隣公園	②上河崎・ 中西地区市 民緑地整備	③さくら運動 公園内施設 整備	④トンボ池 用地購入	⑤公管金	合計	財源内訳					国庫補助	県支出金	地方債	その他	一般財源	R5年度	218,229	6,314	7,590	242,980	210,000	685,113	249,100	63,100	323,000	0	49,913	R4年度	125,631	0	800	57,900	180,000	364,331	142,500	0	198,900	0	22,931	合計	343,860	6,314	8,390	300,880	390,000	1,049,444	391,600	63,100	521,900	0	72,844
	①萱丸地区 近隣公園								②上河崎・ 中西地区市 民緑地整備	③さくら運動 公園内施設 整備	④トンボ池 用地購入	⑤公管金	合計	財源内訳																																								
		国庫補助	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																
R5年度	218,229	6,314	7,590	242,980	210,000	685,113	249,100	63,100	323,000	0	49,913																																											
R4年度	125,631	0	800	57,900	180,000	364,331	142,500	0	198,900	0	22,931																																											
合計	343,860	6,314	8,390	300,880	390,000	1,049,444	391,600	63,100	521,900	0	72,844																																											
事業の効果	萱丸地区、上河原崎・中西地区、さくら運動公園内に公園や施設の整備を図り、こどもも親も楽しめる遊べる場を提供することができる。																																																					

令和5年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 05 社会教育費 02 図書館費 12 図書館運営に要する経費
事業名	電子図書館運営事業
担当課	教育局 中央図書館
事業期間	継続
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和5年度 A	左の財源内訳					令和4年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	10,314	0	0	0	0	10,314	7,689	2,625	
歳 出 内 訳	使用料	10,032	電子書籍使用料					7,480	2,552
	賃借料	282	電子書籍用目録データ (MARC) 賃借料					209	73

事業の目的	図書館機能をさらに高めながら市民サービスの向上を目指す。
事業の概要	<p>電子図書館運営事業概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和5年度導入予定コンテンツ数 2,700タイトル (前年比+700タイトル) 電子書籍用目録データ (MARC) 2,700件 (前年比+700件) <p>図書館情報システムと連携させ、図書館Webページからの検索、貸出を可能とする。</p> <p>○電子図書館とは パソコンやスマートフォン、タブレット端末などで、インターネット上の電子図書館にアクセスすることにより、図書館に直接来館することなく、自宅や外出先などから、いつでもどこでも電子書籍を借りて読むことができるサービス。 紙の本とは異なり、文字を拡大・縮小したり、音声で読み上げを行うこともできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出期間：14日間 貸出点数：2点まで 利用可能コンテンツ数：約1,000点 (令和5年1月現在) <p>※電子書籍コンテンツには、利用可能期間や貸出回数に制限があるタイプ (有期限・回数制限タイプ) と制限がないタイプ (無制限タイプ) がある。</p>
事業の効果	<p>電子図書館サービスにより、「視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律」(通称：読書バリアフリー法)の基本理念にあるアクセシブルな書籍・電子書籍等の量的拡充や質の向上が図られる。</p> <p>また、インターネットを利用してサービスが提供できるため、非来館型サービスが実現することになり、コロナ禍における図書館サービスとして効果的である。</p>